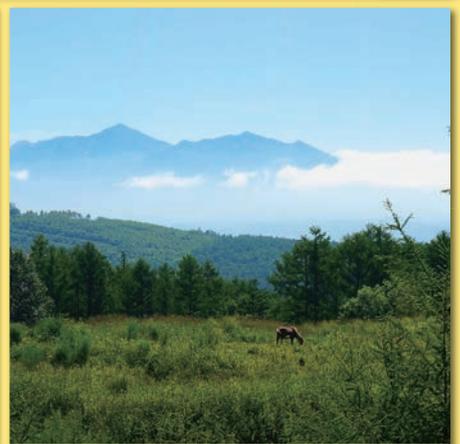
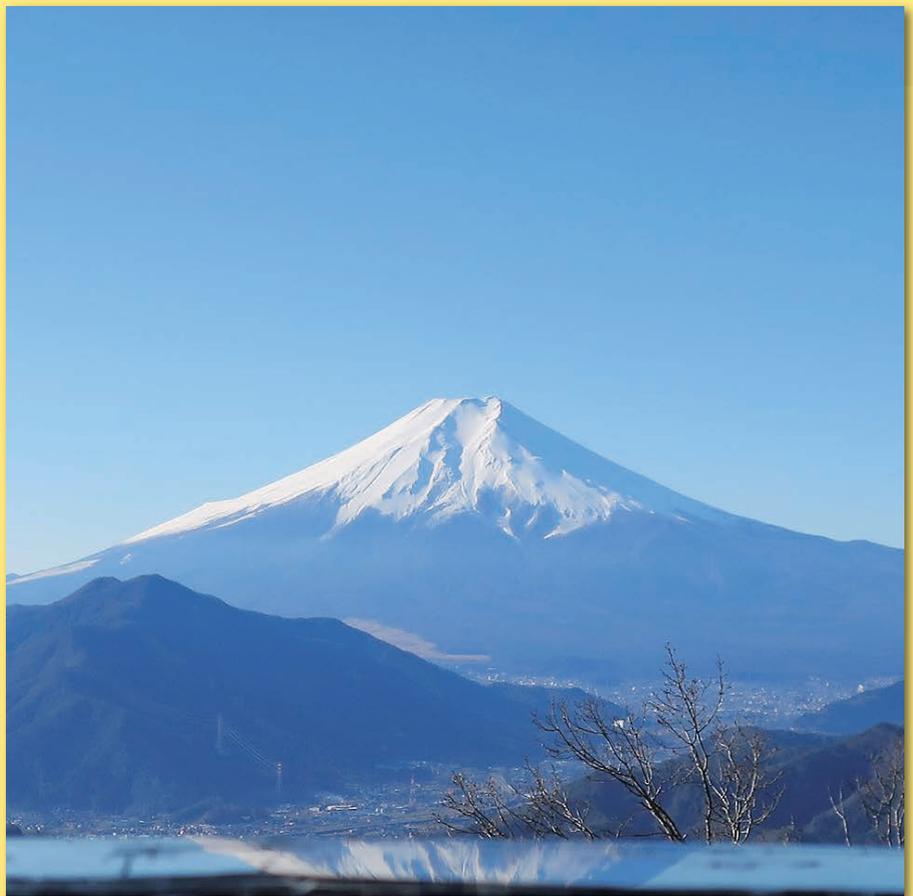


*Tokyo Dental College  
Alumni Association*



## 東京歯科大学同窓会会報 第410号

### 目 次

グラビア ふるさと自慢	
巻 頭 言	1
お知らせ	2～4
重点事業へのアプローチ	5
会 務	6～10
総務・厚生	11～12
渉 外	13
理事会のうごき	14～15
事業推進部	16～21
母校だより	22
追 悼	23～24
支部のうごき	25～33
クラス会だより	34～39
OB会・グループ・サークルだより	40～42
すいどうばし	43～44
庶務日誌	45～46
追 悼	46
逝去会員	47
投稿規定	48
へんしゅうこうき	49
平成29年度評議員会報告	50～83

### 表紙写真の説明

- ・「秀麗富嶽12景 高川山からの富士」  
日時：2016年12月18日撮影  
場所：山梨県 高川山  
平成10年卒 京橋支部 横田 東生先生 撮影
- ・「秀麗富嶽12景 高川山からの富士」  
日時：2016年12月18日撮影  
場所：山梨県 高川山  
平成10年卒 京橋支部 横田 東生先生 撮影
- ・「第45回同窓会主催全国ゴルフ大会を終えて」
- ・「第49回東歯祭および後夜祭・歯学体成績報告会」  
開催
- ・平成29年度 評議員会
- ・「通勤ロード」  
日時：2016年7月12日撮影  
場所：北海道 中富良野町  
平成9年卒 旭川支部 藤堂 雅成先生 撮影

## ふるさと自慢 ～私のお気に入り～

青森さ，こいへ～！（青森に来てね～！）

青 森 県



八甲田連峰を望む

青森県は太平洋・日本海・津軽海峡と三方を海に囲まれており、大間のまぐろを筆頭に海産物の宝庫です。その青森で今回は「山」の自慢をさせていただきます。

青森市の南方にそびえ立つ八甲田連峰。実は八甲田山という山はないということをご存知でしょうか？ 標高1,585mの大岳をはじめとした10以上の山々などからなっており、八甲田ロープウェイの山頂駅は田茂范岳にあります。秋の紅葉はすばらしく、観光客や地元

の人たちでたいへんなにぎわいです。多くの県外ナンバーの車が訪れ、また近年は外国の方も多くなってきました。

これから冬になるとこの辺りは5メートルを超える積雪になります。酸ヶ湯温泉は由緒ある名湯ですし、八甲田の樹氷も見事なもので、5月のゴールデンウィークの頃までスキーを楽しむことができます。

山の麓には青森のシンボルであるりんご畑が広がっています。地

元ならではの「りんご狩り」ではあまり市場に出ない品種のりんごをその場で食べることができます。最近では黄色いりんごもメジャーになりつつありますが、青森県代表は「トキ」といいますのでぜひ召し上がってみてください。

また日本海側の秋田県との県境には世界遺産の「白神山地」があります。世界最大のブナの原生林や「暗門の滝」「十二湖」など見所満載です。さらに下北半島には霊峰「恐山」が陸奥湾を見下ろし



今年の「ねぶた大賞」



八甲田地獄沼周辺



ふじりんご



トキりんご

ております。7月の大祭では「イタコの口寄せ」が有名です。

「山」の話をしてまいりましたが、青森の自慢といえばやはり「ねぶた」をはずすことはできません。「青森ねぶた祭」は毎年8

月2日～7日まで開催されます。ほぼ同時期に「弘前ねぶたまつり」「五所川原立佞武多祭」「八戸三社大祭」もありますので、県内は短い夏の中で大きな盛り上がりを見せます。

まだまだ自慢したいものがたくさんありますので、皆さん、是非青森においでください。待ってるはんでの～！（お待ちしてま～す！）

（昭和63年卒 古川由美子）

## 本年度の同窓会事業 へのご協力に 厚く御礼申し上げます



会 長  
矢 崎 秀 昭

平成28年1月に発足しました現執行部も本年12月末までとなりました。平成28年度・29年度の執行部の発足にあたり同窓会運営の重点項目として、会員との連携強化、情報ネットワークなどを活用した会員への情報の提供、大学との協力体制の強化、アカデミア構想による人材の育成、会員の支部加入促進と財政基盤の強化の5項目を掲げました。

このうち特に若手の会員との連携につきましては、本年度も卒業5年目までの会員自身により企画、運営による新進会員の会を開催いたしました。

さらに大学の協力のもと学生を同窓会の準会員として、学生時代や、さらに卒業時や研修医の終了時などに、歯科医師としての人生において同窓会が果たしている役割や、各種事業、各地域における同窓会支部の具体的な活動などについて紹介をしています。

会員への情報提供については、ホームページをできるだけ早期に更新し、常に新しい同窓会の活動や予定などについてお知らせしています。

最近の在校生のご父兄は母校の同窓生だけでなく、他大学の出身の方々が著しく増加しています。本年8月に大学の協力のもと、大学広報を保護者の

方に配布する際に、平成29年2月号と6月号の同窓会会報を同封して戴き、全保護者の方に配布いたしました。保護者の方からは、将来ご子弟が入会する同窓会の組織の活動について知り、さらに地元における同窓会支部の状況などを知ることができ、将来について安心感を持つことが出来たとの反応もありました。

大学の創立120周年の記念事業の大学の水道橋移転は、昨年4月の西棟の建設、本年4月の短期大学歯科衛生学科の開校により一段落を迎えることが出来ました。血脇ホールの建設、さらにこの西棟の建設に関しましては、同窓の皆様には大学へのご寄付をお願いし、絶大なるご支援を賜り心から厚く御礼申し上げます。本年10月号の会報に掲載されていますように、大学として長く感謝の気持ちを表すため、ご寄付を賜った会員のお名前を刻んだ銘板を西棟に掲示いたしました。現在、大学は今後とも臨床研修施設や学生の厚生施設の充実を図ってゆく必要があります。平成30年3月まで大学への寄付を継続してお願いしておりますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

同窓会の学術部におきましては、アカデミア構想による若手の会員の人材育成に努めております。毎週のように同窓会におきまして、夕方に症例発表を中心とした勉強会を開催しております。ここで育った多くの人材が同窓会の学術委員として、さらに各地域において、地域医療の担い手として活躍しておられます。

現在、日本歯科医師会には役員として5名の東歯同窓がおられ、また都道府県の会長として5名の同窓が活躍されておられます。

また、日本学校歯科医会会長の川本 強先生、日歯連盟副理事長の富山雅史先生はじめ多くの同窓が、現在、全国の歯科関連組織で中心的役割を担っています。

さらに、衆議院議員として千葉県白須賀貴樹議員、参議院議員として神奈川県島村 大議員が同窓の国政議員としておられ、日本における歯科医療の充実に向けて日夜努力されておられます。

同窓会としてはこれらの方々につき、将来の日本の歯科界を担う若手の人材の育成を各地域支部と連携して、さらに進めてゆこうと思っています。

継続可能な共済制度の改革や各種事業の合理化などにより同窓会の財政基盤の強化に取り組んでいます。それには各支部の皆様のご支援が何より大切となります。今後とも同窓会への皆様のご支援を宜しく申し上げます。

# お知らせ

## 平成29年度 評議員会決定事項

### ●役員改選（任期：平成30年1月1日～平成31年12月31日）

【会 長】：矢崎秀昭 先生（S42年卒・新宿支部）

【監 事】：矢島安朝 先生（S55年卒・大学支部）

春山良夫 先生（S46年卒・埼玉県支部）

太田昭二 先生（S49年卒・静岡県支部）（届出順）

他の役員については、次号の会報にてお知らせする予定です。

### ●東京歯科大学同窓会共済規程の廃止

現行の「共済規程」は、平成29年12月31日をもって廃止となります。

平成29年12月31日以前に、逝去・被災等がございましたら、所属支部の支部長を通じ、同窓会事務局にご報告願います。（支部に所属していない「新進会員」は、事務局に直接）

平成30年に入ってからでも結構ですが、なるべく早急にお知らせください。

### 東京歯科大学同窓会慶弔基金規程の制定

（平成29年11月19日制定 平成30年1月1日施行）

第1条 この規程は、東京歯科大学同窓会（以下、「本会」という）会則第3条および第4条の規定に基づき、会員の福祉の増進をはかるため、会員の慶弔の給付に関し必要な事項を定めることを目的とする。

第2条 前条の目的を達成するために本会に慶弔基金を設ける。

2 慶弔基金は、特別会計とし、その会計年度は本会の会計年度と同じとする。

第3条 慶弔基金は、本規程施行直前の東京歯科大学同窓会共済基金よりその全額を引き継ぎ、運営に当てる。

2 本基金運営を持続するため、本会経常部会計からの繰り入れを行う。ただし、繰り入れの額は、評議員会の議決により定める。

第4条 弔慰金の請求は、その支払い事由が発生した場合、原則として、弔慰金受領者より支部長を通じて、死亡した事実を証明する書類をもって届け出ることによって行う。

第5条 慶弔金の金額は次のとおりとする。

一 80歳の長寿お祝い金 5万円

二 100歳の長寿お祝い金 3万円

三 死亡の場合 弔慰金 8万円

ただし、80歳の長寿お祝い金受領者の弔慰金は3万円とする

別途生花代（消費税を含む）として、2万円を支給する

2 慶弔金の支払いは、事由発生後できるだけ速やかに行うよう努めるものとする。

第6条 特別の事情により、前条規定の適用が困難となった場合は、会長は常任理事会にはかり、別途方法をとることができる。ただし、次回の理事会および評議員会において承認を得なければならない。

第7条 慶弔金受領の効力は、本会において入会手続を完了した日から発生する。

第8条 会員が事由発生時において1年以上東京歯科大学同窓会会費を滞納している時は、理事会の議を経て、慶弔金の支払いを行わない。

第9条 この規程の変更は、評議員会の議決を経なければ行うことができない。

### 付 則

第10条 この規程は、平成30年1月1日から施行する。

## 理事会より

- 東京歯科大学同窓会の年末年始のお休みは、平成29年12月29日（金）～平成30年1月4日（木）となります。
- 平成30年1月1日より東京歯科大学同窓会の住所表記が変更になります。  
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-9-18
- 執行部任期満了  
現執行部は本年末をもって任期満了となります。次期執行部にも更なるご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 同窓会事業・行事

- 平成30年度東京歯科大学同窓会評議員会および都道府県代表者会  
と き 平成30年11月予定（詳細未定）
- TDCアカデミア2018
  - ・ 卒後研修
  - ・ 臨床セミナー
  - ・ 医療教養
 詳細は同封パンフレット参照

## 地域支部連合会・支部関係

- 支部長交代  
平成29年6月1日付  
日本橋支部 高橋 英史氏（昭59卒）  
前支部長 福岡 博史氏（昭58卒）
- 支部長退任  
平成29年10月18日付  
滝野川支部 海老原典子氏（昭42卒）

## 母校関係行事・案内

## ●平成30年度 東京歯科大学 入学試験情報

入試制度	募集人員	出願期間 (期間内必着)	試験日	合格発表日	試験会場
一般入試（Ⅰ期）	約50名	平成29年12月15日 ～ 平成30年1月26日	平成30年 2月2日	平成30年 2月5日	東京会場： 東京歯科大学水道橋校舎本館 大阪会場： TKP新大阪ビジネスセンター 福岡会場： TKP博多駅前シティセンター
大学入試センター利用 試験（Ⅰ期）	13名				
一般入試（Ⅱ期）	約15名	平成30年2月16日 ～ 平成30年3月2日	平成30年 3月10日	平成30年 3月13日	東京歯科大学水道橋校舎本館
大学入試センター利用 試験（Ⅱ期）	5名				
編入学試験B	若干名				
学士等特別選抜B	若干名				

※編入学試験A・Bは、2年次に編入学

## 白須賀貴樹先生 衆議院選に3回目の当選

先般の第48回衆議院議員総選挙において、千葉県第13選挙区の平成12年卒業の白須賀貴樹先生が見事に連続3回目の当選をされました。

白須賀貴樹先生は、平成24年12月の第46回総選挙で初当選され、それ以来国政の場で、多方面にわたり活躍されて来られました。専門の厚生労働分野では自民党厚生労働部会長代理、衆議院厚生労働委員会理事として、また専門外でも2期目としては異例の自民党税制調査会幹事にも就任され、社会保障と税のスペシャリストとして着実にキャリアを積んでおられます。その活動のなか、国政における歯科の応援団を増やし、診療報酬改定や税制改正などはもとより、さらに歯科界の発展のために寄与されていることは、ご存じのことと思います。

選挙期間中は、出陣式より、当選時まで、同窓会本部より矢崎秀昭同窓会会長はじめ多数の役



員、千葉県同窓会の高原正明支部長はじめ多くの同窓や、砂川 稔千葉県歯会長、宮吉正人千葉県歯連会長はじめ多数の歯科関係者が応援に駆け付けました。

白須賀貴樹先生の今後の更なるご活躍を同窓で応援していこうと思います。今後とも同窓各位の益々のご支援・ご協力を宜しくお願ひ申し上げます。

(渉外担当常任理事・

佐々木眞澄 記)



## 重点事業へのアプローチ

### 「新進会員のつどい」報告



鈴木瑛一先生



野末真司先生



和田 健先生



荒井 亮先生

平成29年11月5日（日），水道橋校舎本館13階第1講義室において，第5回新進会員のつどいが開催されました。このつどいは卒後5年目以内までを対象とした新進会員を対象としたものであり，今年は「その疑問，あなただけじゃないですよ」をテーマに掲げ，本学同窓である4名の先生にご講演いただきました。前半は平成23年卒の鈴木瑛一先生からは歯周病治療について，平成23年卒の野末真司先生からは摂食・嚥下学について講演していただき，後半は平成22年卒の和田 健先生より軟質ラインと義歯安定剤について，平成21年卒の荒井 亮先生からは小児歯科治療についてそれぞれご講演いただきました。

新進会員のつどい実行委員会



次期実行委員 田中亚生先生



次期実行委員 星野立樹先生



# 会 務

## 第64回全国歯科大学同窓・校友会懇話会（いわゆる全歯懇）開催 （10月21日）

「全歯懇」は、全国29校の同窓会・校友会（同窓会・校友会は28）の集まりで、昭和53年から始まり（当初は年2回、平成16年からは年1回開催）、今年の第64回は、「ANAクラウンプラザホテル岡山」にて、岡山大学歯学部同窓

会の当番で開催されました。

大型台風が接近する中、全国から全ての同窓会・校友会から約140名の役員等（当会からは、矢崎秀昭会長，早速晴邦副会長，臼井文規専務理事，宮地建夫顧問）が集まり，報告や協議を行いました。

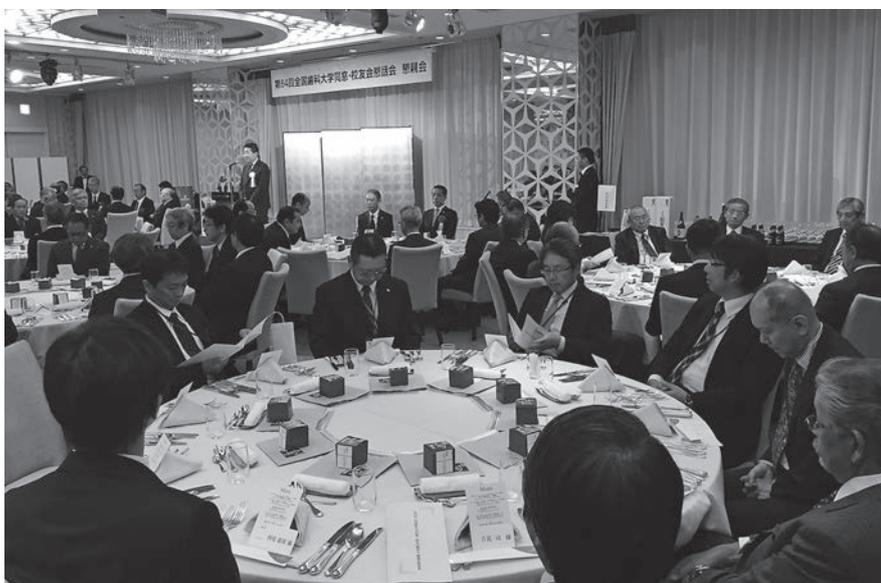


日本歯科医師会・日本歯科医師連盟・岡山県・岡山県歯科医師会等から多くのご来賓が参列しており，日歯連盟の副理事長として富山雅史先生（S57年卒・同窓会副会長）と，岡山大学歯学部同窓会鹿児島県支部支部長として，田松裕一先生（H5院修・鹿児島大学歯学部教授）も参加しておりました。

今年は、「地域包括ケアシステムにおける歯科の立ち位置」をテーマに，兵庫県立大学大学院教授の筒井孝子先生と日本歯科医師会常務理事の児玉 剛先生の講演がありました。

懇親会では、「備前焼」のぐいのみで，岡山大学歯学部同窓会の各地域・支部から集められた「地酒」をいただきました。

次回（2018年）は，徳島大学歯学部同窓会の当番で，8月11日に開催されます。



## 日本学校歯科医会 川本 強 新会長ご就任にあたって

同窓会会長 矢 崎 秀 昭

本会では、同窓の先生方が歯科医師会等歯科関連団体において、主要な役職をまかされ活動することは歯科界の発展のために重要であると考えております。そのため昨年度の都道府県代表者会では対外的に強い同窓会を求めて、協議題として1) 各都道府県における歯科医師会、歯科医師連盟、学校歯科医会等で活躍されている同窓の人事の現状と課題について 2) 人材の育成や配置について各都道府県から同窓会本部に望むことをあげさせていただき、協議をさせていただいたところです。当日には、次期日本学校歯科医会会長予備選挙に立候補を予定されていた、川本 強先生においでいただき立候補表明と全都道府県代表者の援助を確認しました。全国の会員のご助力もあり見事当選され、今期より日本学校歯科医会会長としてご活躍されております川本 強先生（S44卒）に、日本学校歯科医会の現在までの活動内容や今後の活動方針についてご報告いただきまして、会員の皆様のご理解と更なるご支援をお願いするところであります。

### ご 挨拶

一般社団法人 日本学校歯科医会

会長 川 本 強（昭和44年卒）



平成29年6月、第92回一般社団法人日本学校歯科医会定時総会及び直後の理事会において、会長に選出されました昭和44年卒業の川本 強です。私は、卒業後、口腔外科第2講座に席を置き、昭和51年に東京都葛飾区に開業しました。その後、地元の学校歯科医として学校歯科保健活動に関与し現在に至っております。

日本学校歯科医会は、幼児、児童生徒の歯科保健向上を目的として、昭和7年に組織された団体です。その後、昭和46年に社団法人化され、平成26年4月1日には、一般社団法人として認可されました。現在では、学校歯科医を主たる会員とし、約24,500名（平成28年度）が所属する全国規模の専門団体として、学校保健行政を管轄する文部科学省のほか、学校保健を総合的に推進する（公財）日本学校保健会等と連携を保ちつつ、学校歯科保健に関するさまざまな事業を展開しております。

私は、この度の日本学校歯科医会会長に就任するにあたり、改めてその重責に緊張致しております。

さて、我が国は、平均寿命・健康寿命ともに世界トップクラスであります。それを成し遂げた要因の一つには、ライフステージで最も大切な出発点である児童生徒の時期において、学校歯科保健活動が脈々と引き継がれてきたことにあると推察されます。

そこで、この機会に、私が大変尊敬する学校歯科保健に関わった3人の方々と、日本学校歯科医会の活動を紹介させていただきます。

私の尊敬する3人の方々：

私が、学校歯科保健活動に従事するにあたり、尊敬する3人の方々をご紹介します。

まずはじめは、ライオン歯磨製造販売創設者である「初代 小林富次郎社長」です。氏は、ご自身の左目が見えないこと、またクリスチャンでもあり、健康に大変興味をお持ちであったことにより、大正3年4月、まだ米1Kgが1円の頃、口腔衛生普及のために年額3,000円を日本総合歯科医会（現在の日本歯科医師会）に寄付をされました。これを受け日本総合歯科医会口腔衛生全国学校講演会が開始されたのです。また、この頃母校前身である東京歯科医学専門学校の指導に基づき「萬歳歯刷子」が発売され、大正7年には教員を対象とする4日間の口腔衛生講習会に対しても小林富次郎氏は支援されました。その後、大正10年には、ライオン児童歯科院を設立し、子供の口腔衛生が重要であることを唱えた方です。



小林富次郎氏  
(1852-1910)  
ライオン株式会社HPより

2人目に尊敬する先生は、小林富次郎氏が始めた全国学校講演会の講師も務められた、母校の初代学長「奥村鶴吉先生」です。奥村先生は、血脇守之助先生に勧められて高山歯科医学院に入学し、明治33年東京歯科医学院として出発した際、講師として勤められ、血脇守之助先生宅では野口英世先生と同じ部屋で起居し、執筆を手伝っておられ



ライオン児童歯科院  
京橋区山城町（現・中央区銀座）に開設  
公益社団法人ライオン歯科衛生研究所HPより



萬歳歯刷子  
大正3年東京歯科医学専門学校の指導のもと開発された  
ライオン株式会社HPより

ました。また、明治37年にはペンシルバニア大学に留学、帰国後は東京歯科医学専門学校の講師、幹事、学監を歴任して、大正13年、う蝕の細菌学的研究により、日本においては歯科界二番目の医学博士号を授与されました。そして、先生は大正15年に再度渡米し、野口英世博士の発見したう蝕病原菌2菌種の名付け親にもなっておられます。現在では、多くの学校歯科医の先生方の努力により、う蝕数は減少しておりますが、奥村先生は児童・生徒の口腔衛生管理の上で欠かせない「う蝕」の原因を研究された先生であります。

奥村先生はその後も研鑽を積み、昭和8年には、著名な歯科医学者であるとともに、野口英世博士の細菌学の共同研究者であり、日本における歯科医学の発展に貢献し、また指導者として大いなる貢献を果たしたとして、シカゴのノースウエスタン大学より、ドクターオブサイエンス賞を受賞しておられます。

その後、奥村先生は、昭和21年7月、我が国初の歯科大学である東京歯科大学の初代学長に就任され、長年の間、片腕となって尽くしてこられた血脇守之助先生の死を見届けた後、母校に大学院が創設された翌年、77歳でお亡くなりになりました。東京歯科大のみならず歯科界の発展に尽力され、現代の歯科界に大きな足跡を残された方です。



奥村鶴吉先生  
(1881-1959)  
昭和24年卒 卒業アルバムより

そして、もうひと方が、昭和初期に文部省学校衛生官でいらした「大西永次郎先生」です。先生は、昭和9年の官報に「教育としての学校歯科」という文書を残しておられますので、ここに原文のままご紹介します。

学校に於ける口腔検査、歯科治療を始め、一切の学校歯科施設は教育の理想目的と一致し、その指導は教育の方法、教育の精神に合致するものでなくてはならない。・・・中略・・・学校歯科医としての本質的使命は、その全部的努力を臨床歯科を通じて、また教師を通じて、児童生徒の歯科衛生に対する思想の啓培と習性の陶冶ならびに実行の指導、換言すれば、学校歯科を教材としての教育的指導が教育としての学校歯科であり、かつ将来の学校歯科衛生の新しい生命でなければならない。・・・中略・・・学校衛生が健康を目的とする教育的活動である以上、学校歯科も常然に健康歯牙の価値を認識せしめるための訓育指導でなければならないと思う。

この文書は今でも新鮮で、学校歯科保健の真髓を述べておられます。そして、現在の学校歯科医の役割を示す「学校歯科医の職務規則」の根幹をなすものでもあります。また大西先生の醇乎たる精神は、現在の日本学校歯科医会における目標、すなわち学校歯科保健活動において慕われ・敬われる学校歯科医の育成、及び生涯研修制度の充実などに結びついております。

#### 学校歯科医の意義：

現在の学校歯科保健活動は、疾病重視の保健管理から、歯・口の健康づくりを基本に、生活習慣の確立を図り、生涯を通じて「生きる力」の育成をめざす保健教育が主体となっています。

一般的に健康そのものに対する興味や認識が低い子供たちに、病気の実体が見えない生活習慣病を理解させることは容易ではありません。このことから、鏡を見ることによって、体の状態や変化を直接的に観察することができる歯や口は、極めて貴重な学習材料（教材）となります。歯垢（プラーク）が付着して発生した初期の歯肉炎は、適切な歯みがきで短期間に改善します。このような経験は、「自分の体は、自分で気を付けて、適切に対処すれば、体は応えてくれる」という極めて重要な実感を与えてくれます。また、歯牙交換期に口を鏡で観察することによって、脱落する歯牙や萌出する歯牙を容易に観察することができ、生への畏敬の念が生まれてくることも期待できます。つまり行動した結果が自己評価できる歯や口は、児童生徒を対象とした健康教育題材として大変有効であると言えます。さらに、朝や就寝前の歯みがき、あるいは規則的な間食の摂取などの生活習慣は、子ども自身が自らを律することによって、心身ともに健康となる、ということ認識するばかりではなく、豊かな人間性を育むことにもつながります。

#### 生涯研修制度：

日本学校歯科医会では「全ての学校歯科医が歯科医師としての専門性を活かしながら教育者としての資質を備え、積極的に学校歯科保健活動を推進し、生涯にわたってその資質の維持と向上を図り幼児、児童生徒及び教職員の歯・口腔の健康増進に貢献すること」をこの制度の目的に掲げ、それを礎として平成21年4月より基礎研修を全国で実施しています。また、平成25年度からは基礎研修に続き、より実践的な内容について研修する専門研修も始まっています。

終わりに：

この児童・生徒の時期に獲得した「生きる力」を、ライフステージ後半においては『生き抜く力』に昇華してもらうことが、私たち日本学校歯科医会の究極の念願であり、これからの大きな課題と思っております。この度、日本学校歯科医会の会長に就任いたしました上は、心身ともに健康な次世代の国民の育成、すなわち心身ともに健康な現在の児童・生徒の育成に邁進したいと存じます。つきましては、日本の歯科界のリーダーである東京歯科大学同窓の先生方のお力添えを賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

# 官報

昭和六年六月二十三日  
第千三百四十三號 火曜日

## 勅令

朕學校歯科醫一及幼稚園齒科醫令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

### 御名 御璽

昭和六年六月二十一日  
内閣總理大臣 男爵 若槻禮次郎  
文部大臣 田中 隆三

①昭和6年6月22日 天皇陛下が、学校歯科医及び幼稚園歯科医令を交付され、この日をもって「学校歯科医の日」が制定されました。

# 官報

昭和九年六月二十日  
第二千二百三十九號 水曜日

## 官報

昭和九年六月二十日  
第二千二百三十九號 水曜日

## 廣告二

④

一 學校齒科は、その研究的方面を科學としての齒科學に求め、その實際的施設においては、齒科學の技術的應用を中心として發達したものであるが、かゝる見地に立つ學校齒科は、一般の齒科醫術を民衆たる個人を對象としないうで、たゞ學校

### 教育としての學校齒科

文部省學校衛生官 大西永次郎

一 學校齒科は、その研究的方面を科學としての齒科學に求め、その實際的施設においては、齒科學の技術的應用を中心として發達したものであるが、かゝる見地に立つ學校齒科は、一般の齒科醫術を民衆たる個人を對象としないうで、たゞ學校

②

③

二 即ち學校に於ける口腔検査、齒科治療を初め、一切の學校齒科施設は教育の理想目的と一致し、その指導は教育の方法、訓育の精神に合致するものでなくてはならない。絶大の時間と努力とを犠牲にして詳細な齒牙の検査を施行し、精密な統計的調査ををばり、進んで齒科診療の設備を充實したからといって、それだけでは學校齒科が完全であるとは決して考へてはならない。それは、齒科醫學としての學校齒科であつても、教育としての學校齒科ではない。學校齒科は單に學校といふ場所において、児童を對象として齒科醫術を應用する臨床齒科醫家でないのである。學校齒科としての本質的使命は、その全部の努力を臨床齒科を通じて、また教師を通じて、児童生徒の齒科衛生に對する思想の發育と習性の陶冶ならびに實行的指導、換言すれば、學校齒科を教材としての教育的指導が教育としての學校齒科であり、かつ將來の學校齒科衛生の新しい生命をなすべからぬと思ふ。

三 即ち學校齒科醫の職務として規程せられてあるところの齒科衛生の訓練が教育としての學校齒科の中心使命でなければならぬ。しかも、これが使命の遂行は、児童生徒に對する直接訓練よりもむしろ重きを教師を通じての間接的指導をもつて、學校齒科醫としての常時的任務であると考えべきである。

四 われわれは、從來學校衛生を目して、公衆衛生の一分科としての醫學的方面のみを重要視したが、かつて學校齒科においても、齒科衛生としての齒科醫學方面のみに傾むく傾向が少なくなつた。もとより學校齒科が、その學問的根據においては、自然科學としての齒科醫學に依拠すべきは、當然のことには相違ないが、教育としての學校齒科の見地よりすれば、その指導原理はあくまでも、文化科學としての教育の精神に一致するものでなければならぬ。しかして、現代的教育學は、現實の生活、ガイアの生活を指導啓蒙して當爲の生活、ゾレレンの生活に到達せしめるの過程であり、學校衛生が健康を目的とする教育的活動である以上、學校齒科も當然に健康齒牙の價値を認識せしめるための訓育指導をなすべからぬと思ふ。學校齒科は、かゝる資料を教師に提供し、教師とともにこれが指導を徹底せしめなければならない。學校齒科醫の主要任務と考へなければならぬ。

④『教育としての學校齒科』「官報」昭和9年6月20日水曜日発行 第2239号より (全文)

②官報全体の表題  
③官報付録の表題

### 第45回同窓会主催全国ゴルフ大会を終えて

本年のゴルフ大会は9月28日（木）に神奈川県戸塚カントリー倶楽部にて開催されました。プレーをした西コースは名匠・井上誠一氏の設計で知られ、今も全組「歩き」でのプレーを堅持し、宮里 藍選手が優勝した「日本女子オープンゴルフ選手権」など数々のトーナメントを開催してきた実績を誇るコースです。

当日は秋雨前線の影響で早朝から土砂降りの雨、車を走らせるのも怖い状況でした。このまま降り続いては中止となるのは必至の状況でしたが、なんとスタート時間になると一部晴れ間も垣間見られるほど急に回復し、昨年の二の舞とはならずプレーを楽しむことができました。

競技はアンダーハンドィの18ホールストロークプレーで行われ、ハンドィキャップはダブルペリア方式で算定しました。当日の参加者は128名で、その内シニア（65歳以上）は33名（シニア17名、グランドシニア16名）。女性は12名でした。

懇親会は山崎副委員長の司会で、矢崎秀昭大会会長・同窓会会長の挨拶から始まり、来賓のご挨拶を佐藤 亨教授にいただきました。続いて白井文規専務理事のご挨拶の後、福本恵吾常任理事から会計報告がありました。

西山 潔神奈川県支部連合同窓会会長の乾杯の後、表彰式を行い

小林菜穂委員によって成績発表と賞品授与が行われました。優勝は金谷陽介先生（埼玉県H13）で同窓会長杯として矢崎会長よりトロフィーが授与され、準優勝は前島洋志先生（中野S44）で理事長杯が、3位は平田輝行先生（茨城県H8）で学長杯がそれぞれ佐藤教授より授与されました。ベストグロス賞男子一般はスコア82でラウンドした洲崎 満先生（千葉県H7）、シニアベストグロス賞はスコア84の荻原英生先生（静岡県S48）、グランドシニアベストグロス賞はスコア86の前島洋志先生（中野S44）が授与されました。女子ベストグロス賞はスコア70の安藤公美先生（目黒H15）で2位を30打以上離し、なんと4年連続の全体ベストグロスでもあり恐れ入ったものです。

他に4位から30位までが入賞としてギフト券を、そして30位以降

は5位刻みで100位まで、100位からは10位刻みで120位までを飛賞として賞品を贈りました。

本大会の開催にあたり大学ならびに同窓会本部、神奈川県支部連合同窓会から多大な協力を承りましたことに深く御礼申し上げます。さらに大会運営にお手伝い頂いた同窓会事務局ならびに戸塚カントリー倶楽部の皆様に感謝申し上げます。

来年の大会は9月13日（木）に開催の予定です。場所は現在検討中ですが、より盛大で意義ある楽しい大会にする所存でございますので宜しくお願いいたします。

最後になりましたが同窓会会員の皆様の益々のご活躍をお祈りいたしましてご報告とさせていただきます。

（大会実行委員長 中川路健司）



ベスグロ

洲崎 満先生（平成7年卒）



雨男…棚から牡丹餅

大会開催にあたり雨の中、濡れながら頑張っていたいただいた実行委員の先生方及び大会関係者に深く感謝いたします。

昨年、今年と雨の中の大会となりましたが、湾岸道路を走行しながらこんな雨で大会やるの？というくらい雨がひどく途中で帰ろうかなと思ったくらいでした。ゴルフ場につき雨足は弱まり何とかゴルフの出来る状態になりましたがテンションがあがりませんでした。レインウエアーを着ると雨が上がり、脱ぐと雨が降る何という雨男。

17年連続で同じメンバーで（椎名康雅先生・田邊陽先生・山本雅通先生）出場している同窓会ゴルフですが、椎名先生のスー

パー300ヤードショットでみんなのテンションがあがり、何とか無事に18H回ることが出来ました。ある名選手が「ナイスショットは、心が非常に平静で、なごやかなときに出る。何の欲張りもない、何の制約もない、そういう状態のときに初めていいショットが出るもの」と言いましたが、常にバーディーを考えている私にナイスショットが出るわけがありません、何とかごまかしながら18H回り運良くベスグロが転がり落ちて来たみたいなのです。

もう一つこの大会の楽しみは、色々な先生方にお会い出来る事です。学生時代に戻った感じになりとても楽しいです。来年も是非参加させていただきたいと思います。



成績表（新バリアの部）

順位	プレイヤー名	OUT	IN	GROSS	HDGP	NET	順位	プレイヤー名	OUT	IN	GROSS	HDGP	NET
優勝	金谷 陽介	45	40	85	14.4	70.6	16位	原 一雄	41	44	85	10.8	74.2
準優勝	前島 洋志	45	41	86	14.4	71.6	17位	秋元 英典	53	50	103	28.8	74.2
3位	平田 輝行	42	43	85	13.2	71.8	18位	猪狩 有博	43	42	85	10.8	74.2
4位	萩原 英生	42	42	84	12.0	72.0	19位	田邊 陽	43	42	85	10.8	74.2
5位	洲崎 満	40	42	82	9.6	72.4	20位	西村 亮介	47	49	96	21.6	74.4
6位	安藤 公美	34	36	70	-2.4	72.4	21位	白鳥 清人	43	41	84	9.6	74.4
7位	戸村 博臣	40	46	86	13.2	72.8	22位	本間 祥雅	50	52	102	27.6	74.4
8位	角 譲	44	47	91	18.0	73.0	23位	奥山 雅人	40	50	90	15.6	74.4
9位	高橋 治好	43	47	90	16.8	73.2	24位	坂井 清	42	41	83	8.4	74.6
10位	森田 全省	48	47	95	21.6	73.4	25位	高橋 庸	48	47	95	20.4	74.6
11位	宗本 匡由	45	48	93	19.2	73.8	26位	黒須 誠	45	49	94	19.2	74.8
12位	木暮 隆司	45	48	93	19.2	73.8	27位	町田 貴敏	44	44	88	13.2	74.8
13位	前島 達也	43	44	87	13.2	73.8	28位	杉山 忠正	44	49	93	18.0	75.0
14位	荒野 実	43	42	85	10.8	74.2	29位	小枝 義典	53	52	105	30.0	75.0
15位	武藤 彰	38	47	85	10.8	74.2	30位	山本 雅通	42	45	87	12.0	75.0

参議院議員 島村 大君を励ます会2017

10月5日（木）夕刻，都内のANAインターコンチネンタルホテル東京にて参議院議員 島村大先生（S60年卒）の「励ます会」が開催されました。期せずして9月28日に衆議院が解散し，選挙モード一色の時期となりましたが，400名近い方々が参集する大盛会となりました。

通常，このようなパーティーの主な来賓は閣僚の方々です。果たして衆議院議員の大臣が在京しているのか，また，全国へ応援に飛び回って何方もみえないのでは，といった心配もよそに，開会時から続々と要人達が到着しました。

世耕弘成経済産業大臣の「島村君は歯科医師だが，歯科だけではない。地元の中小企業施策などにも尽力しており，経済産業分野でも期待している」といった力強い激励の後，河野太郎外務大臣，中川雅治環境大臣と続き，そして加藤勝信厚生労働大臣は「今後は厚生労働委員長としても頼りにしている」旨のお気持ちのこもった祝辞を述べられました。

島村 大参議院議員は，この秋，厚生労働委員長に就任されま

した。厚生労働委員会ではこれまでも筆頭理事として手腕を振るわれてきましたが，またひとつ大きくなられたことに我々同窓としても誇らしく思うと同時に，今後のご活躍もますます期待するところです。

島村議員が幹事長を務める日本・ガーナ友好議員連盟のご縁で，今年もガーナ共和国大使が来賓として挨拶をされるなど，会は華やかに賑やかに時が過ぎ，矢崎秀昭同窓会会長の中締めのご挨拶ののち滞りなく閉会となりました。全国の多数の同窓の皆様のご参加，ご協力のおかげです。誠にありがとうございました。



今年は衆議院選挙がありました。次は国政選挙はいよいよ再来年の参議院選挙かと思われま。選挙まで1年半。これからも様々な形で，同窓の皆様方と共に島村大議員を盛り立てていきたいと思。引き続きよろしくお願。申上げます。

（渉外担当常任理事・

佐々木真澄 記）



# 理事会のうごき

## 第4回理事会

平成29年9月16日（土）午後2時30分

於 特別会議室

出席 31名

議長 矢崎会長

### 会長挨拶

7月は猛暑、8月は雨ばかり、本日は台風接近と悪条件の中、ご出席感謝申し上げます。

全国各地域支部連合会あるいは各支部に何うと、会員数が減少する中で、地元歯科医師会でも多くの先生方が活躍されていることに敬意を表する。

日本歯科医師会には5名の役員が出ている。県歯の会長も5名を確保している。ただ日歯代議員は19名から15名となった。支部の会員数が減っている中で大変なことではあるが、今後とも代議員数確保に対応をお願いしたい。

支部会員数減少は、開業する年齢が遅くなり、長くなっている勤務医の期間は同窓会、歯科医師会と縁がないことも一因となっている。今後は勤務医から同窓会活動に協力してもらい、将来、円滑に支部に入会するという形を構築していかなければならないと考える。幸い大学が、医局員が医局を辞めたとき、その後の動向を本部に知らせるように、各医局に周知してくれている。徐々に効果が上がってきているように思える。

寄附のお願いについては、7月末に西棟横に協力者のお名前が掲示されたので、ご覧いただきたい。まだ余白があり、引き続きご支援をお願いします。

いよいよ都道府県代表者会議、評議員会が近づいてきた。各地域から出る問題に十分こたえられるよう、協力をお願いします。

### 黙 禱

静岡県支部・大石康雄氏はじめ18名のご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表した。「黙禱」

### 会務報告ならびに承認

1) 平成29年7月27日から12月28日までの日程を報告。

2) 各部報告

(1) 総務・厚生部：①会費、共済負担金納入免除願いが2件提出され、受理した旨の報告。②逝去会員について規程により弔慰共済金を支給した旨の報告。③平成29年度会員数調べ報告。④母校「水道橋校舎施設設備整備資金寄付金」申込み状況報告。⑤会務運営協議会報告。⑥ゴルフ大会委員会報告。⑦新進会員のつどい実行委員会報告。⑧女性会員活動推進委員会報告。⑨事務局に9月1日から1名派遣職員勤務を報告。

(2) 会計部：①地域支部連合会学術講演会助成金の支出について1件報告。②支部・地域支部連合会学術講演会講師派遣交通費の支出について3件報告。③地域支部連合会活動助成金の支給について報告。④平成29年度8月末現在現状報告。

(3) 渉外部：①渉外委員会報告。

(4) 広報部：①広報委員会報告。②ネットワーク小委員会報告。③同窓会HPアクセスレポート報告。

(5) 事業推進部：①社会保障制度研究委員会報告。②学術委員会報告。③TDCアカデミア2017受講申込状況報告。④TDCアカデミア2018プログラム最終案報告。

以上の会務報告について、全て承認。

### 協議事項

1) 推薦会員退会願いについて2件協議、承認。

2) 会員の状況および平成30・31年度の評議員数について評議員会において会務報告で説明することを協議、承認。

3) 参与の委嘱について協議、承認。

4) 平成29年度「都道府県代表者会」「評議員会」日程について協議、承認。詳細は会長一任。

5) 名誉会員の推薦について2名提案、協議の結果承認。

- 6) 北支部・滝野川支部の合併について東京地域支部連合会より報告。協議の結果合併し「北支部」とすることを評議員会に上程することを承認。
- 7) 東京歯科大学同窓会会則の第2条および第10条の一部改正案について協議の結果、評議員会に上程することを承認。
- 8) 東京歯科大学同窓会共済規程の廃止および東京歯科大学同窓会慶弔基金規程の制定案について協議の結果、評議員会に上程することを承認。
- 9) 東京歯科大学同窓会共済規程の廃止および東京歯科大学同窓会慶弔基金規程の制定案に伴う東京歯科大学同窓会会則の一部改正案について協議の結果、評議員会に上程することを承認。
- 10) 平成30年度入会金および会費等について協議の結果、評議員会に上程することを承認。
- 11) 平成30年度「理事会・常任理事会」の開催回数について協議の結果、承認。
- 12) 東京歯科大学同窓会平成30年度事業計画・収支予算案を協議、承認。評議員会に上程、細部の修正は会長一任。
- 13) 評議員会の議案上程について協議、承認。内容の変更を伴わない文言の変更については会長一任。
- 14) 「都道府県代表者会」「評議員会」の協議題について協議、承認。
- 15) 東京歯科大学同窓会施行細則会則の一部改正案（共済制度の見直し等に係る）について協議、評議員会で承認された場合に改正を承認。
- 16) 現時点での平成30年度の日程について協議、承認。詳細については次期執行部に申し送りとする。

11月19日に平成29年度の「都道府県代表者会」と「評議員会」が開催されました。詳細は、次号（平成30年2月号）をご覧ください。



# 事業推進部

## TDCアカデミア 2018のご案内

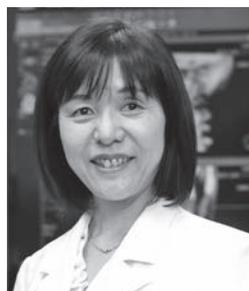
TDCアカデミア事業が発足して、3年が経過いたしました。「卒後研修」「臨床セミナー」「医療教養」の3本の柱を軸に研修会、セミナーを通じて学術的情報を伝えてまいりました。2018年もこのコンセプトで、月3回の卒後研修勉強会、臨床5セミナー（講演型2、実技型3）、医療教養フォーラムを提供いたします。臨床セミナーでは、日々の臨床におけるベーシックな内容からアドバンス治療まで、また最新情報も交えてお伝えしていきます。また医療教養では、我々がおかれている超高齢社会における医療課題について皆さんと一緒に考えていくフォーラムを企画いたしました。

先生方の生涯研修の一助として、同窓会学術セミナーをお役立て下さい。皆さんのご参加をお待ち申し上げます。

東京歯科大学同窓会学術委員会

### 臨床セミナー

#### 臨床セミナー 講師陣



後藤多津子 先生



末瀬一彦 先生



船登彰芳 先生



新谷誠康 先生

### 画像診断セミナー

#### 「デンタル、パノラマX線画像とコーンビームCTの読影」

講師：後藤多津子（東京歯科大学歯科放射線学講座 教授）

近年、歯科用コーンビームCT（CBCT）による三次元画像は、歯内治療における根管治療や歯根尖切除手術、埋伏歯の位置の確認、特にインプラント治療においては欠かせないものとなってきました。しかし、被曝があり、しっかりとした検査の上で有効に活用することが大切です。そこで、CBCTの基本的な特徴や、三次元画像を使用した読影のポイントをお伝えします。また、実際の画像を用いて、より正確な診断をするにはどうしたらいいのかなど、実践に即した内容でお伝えいたします。

### 補綴セミナー

#### 「補綴臨床におけるデジタルデンティストリーの真髄」

講師：末瀬一彦（大阪歯科大学 客員教授）

最近やっと日本でも、口腔内スキャナーが各社で販売されるようになりました。アメリカの歯科治療で

は、デジタル化は著しく、矯正やインプラント治療などに応用されています。例えば、CTデータと口腔内スキャンのSTLデータから、インプラントのシミュレーションを行い、CAD/CAMでサージカルガイドを作製し、インプラント埋入後は口腔内スキャンデータから、上部構造まで製作できるようになりました。

しかし、さまざまなデジタル技術が発達し、3Dプリンターを使用した模型や、CAD/CAMによる補綴物の製作が行われる中で、実際の精度やデータ処理スピードなどはどのくらいなのか、といった疑問も多くあります。現在のデジタル技術における利点や欠点、それぞれの機械の特徴など、情報の整理と今後の展望について解説いたします。

## ペリオセミナー

### 「あなたの歯周治療をさらなる高みへ」

～切除療法・ソフトティッシュマネージメントから再生療法までを学ぶ1.5日～

講師：船登彰芳（石川県 開業）

歯周組織を長期安定させるためには、さまざまな対応が求められます。骨へのアプローチとしては、切除療法・再生療法で対応し生理学的な骨形態への再構築が必要となります。また軟組織へのアプローチでは、遊離歯肉移植術・結合組織移植術などを用います。その結果、歯周組織は安定しプラークコントロールしやすい環境を達成できます。しかし、歯周外科手術の様々な術式のコンセンサスは多く得られておりますが、実際の日々の臨床応用の際に術式の選択に悩むことはないでしょうか。歯周病の基礎から歯周外科手術の原理、原則を解説し、実習を通して歯周治療のさらなるステップアップを目指したセミナーです。

## ベーシックハンズオンセミナー

### 「すぐに役立つ臨床のコツ」

～実践スキルの向上 補綴、矯正、ペリオ、口腔外科編～

講師：同窓会学術委員

実際の臨床現場で歯の状況や粘膜の状況、欠損の状況は個々に異なり、臨床経験が少ない若い歯科医師はその対応に迷うこともあるのではないのでしょうか。また、医療面接、治療計画説明、治療などある一定の時間内で診療を終えなければいけない制約もあり、的確な臨床判断の上、治療手技も備わっていなければなりません。臨床経験の積み重ねで何となく覚えていくのが現状ですが、臨床手技を前もって学び研鑽することも必要です。

日常臨床で作製する機会が多いテンポラリークラウンの作製の仕方、悩むことが多い義歯の設計、実際にやってみないと分からない歯肉の切開や剥離、抜歯、縫合、一般臨床で活用したいMTMなど実技を学べるセミナーです。

## 小児歯科セミナー

### 「向き合いませんか！小児歯科治療」

～小児の特徴・乳歯齲蝕治療・抜歯後の保隙・経過観察まで～

講師：新谷誠康（東京歯科大学小児歯科学講座 教授）

乳歯を治療する時にこんなことを思ったことはないですか？

『脱離、再根治…どうせ抜けるから、それまで何とかできれば…』痛みがでなければそのまま抜けるまでやり過ぎたい、悩み、悩み治療してきたけれども、時として小児歯科治療を避けたくなることもあるのではないのでしょうか。しかしながら、きちんとした除痛と確実な治療は、小児の信頼も確固となるばかりでなく、口腔管理のもとスムーズな永久歯萌出へと導きます。小児への対応を確認しつつ、永久歯とは

異なる乳歯の特徴を再認識していただき、健康な成人歯列へ導くための小児歯科治療を学べるセミナーです。

## 医療教養フォーラム

### 超高齢社会における口腔保健の課題 ～2025年を迎えるにあたって、やっておかなければならないこと～

#### フォーラム 講師陣



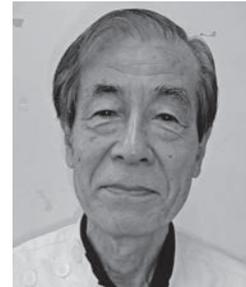
野村武史 先生



田中五郎 先生



中野智紀 先生



富田 勲 先生



五島朋幸 先生

#### 第1部

##### 在宅歯科診療における診療計画

講師：野村武史（東京歯科大学オーラルメディシン・口腔外科学講座 教授）

田中五郎（神奈川県開業 歯科医師）

在宅歯科医療においては、口腔内の状況のみならず、診療環境や患者の全身状態や生活状態によって治療手段が制限されます。さらに、生命予後や認知機能などの生活能力などにも配慮した治療目標設定が必要になります。そのような中で、本人の希望や家族の意向にいかに沿った形での最善のサポートをどのように選択したらいいのでしょうか。在宅歯科医療の診療計画の立案と臨床決断について考えるフォーラムです。

#### 第2部

##### 口腔保健からの地域づくり

～自分たちの街をどんな地域にしたいのか～

講師：中野智紀（東埼玉総合病院 医師）

富田 勲（千葉県開業 薬剤師）

五島朋幸（東京都開業 歯科医師）

2025年を目前に迎え、地域包括ケアの構築が急務であり、多様な取り組みがされています。そのような中で、口腔ケアや機能訓練の中断や独居高齢者の孤立などの多くの問題が山積しています。これらの課題は、高齢者の生きがいや地域におけるソーシャルキャピタルと密接に関連します。そのため、私たちは地域の口腔保健を担う専門家として、地域づくりに積極的に関わっていくことが求められます。急速に高齢化が進行する中で、私たちはどんな地域づくりをしていったらいいのか、医療専門家のソーシャルワークについて考えるフォーラムです。

## ● 卒研レポート ●

## TDCアカデミア 2017 MTMセミナー はじめてのMTM ～入門！ やさしい歯の移動テクニック～



9月30日・10月1日にMTMセミナーが開催された。川西委員の進行で企画説明、講師の本学矯正学教室末石研二教授、西井 康講師、立木千恵講師とインストラクターの戸嶋 翼先生、永井航平先生、深見未妃先生、松本高明先生、山口樹里先生、吉野史人先生の紹介が行われた。

末石教授による講演「MTMの概説」は問題提起型診断システムと矯正の基本について症例を交えて説明していただいた。

次に立木講師によるワイヤーベンディングの実習説明の後、その場で実習を行ったが、受講者たちは慣れない角線のベンディングに苦労しているようであった。

休憩の後、西井講師によるMTMの基礎知識、MTMの術式の注意点の講演になった。MTMはその目的をはっきりさせることと歯牙移動のメカニクスについて理解することがポイントであるとのことであった。

実習室に移動し、立木講師によるブラケットポジショニング、エ

クストレーション、アップライトの実習説明の後、タイポドントでの実習となり、装置の製作を行い1日目は終了した。

2日目は立木講師による実習説明後、アップライトスプリングを製作、装着後、ダンク槽に模型を入れ、エクストレーションとアップライトが起こる様子を観察した。

次にレベリングと保定の説明、デモ、装置製作後にダンクを行い歯牙移動の確認、保定装置の装着を行い実習は終了となった。

昼食後、西井講師より実習のフィードバックということで、実習時に見られたトラブルや注意点について説明があった。

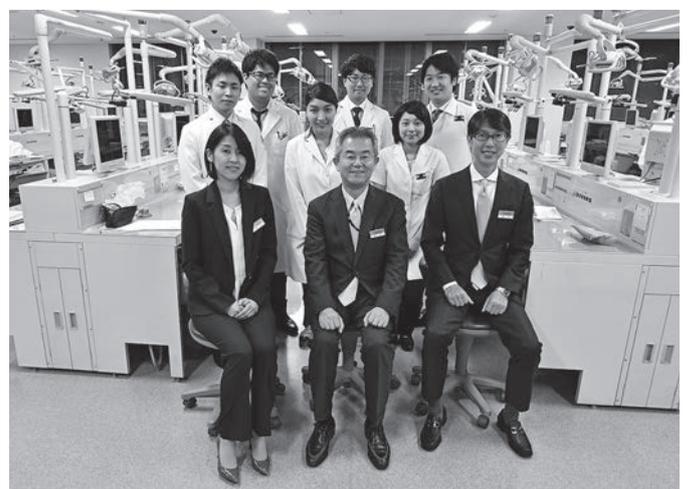
その後、立木講師より山本委員の症例によるケースプレゼンテーションがありMTMの

実際についての知識を深めた。

そして西井講師によるアンカースクリューの有効性の講演になった。アンカースクリューは矯正にパラダイムシフトを起こした技術であり、今まで困難だった移動も行えるようになったとのことであった。

最後に末石教授より受講者からの質問に対して項目別ごとに解説が行われた後、代表者に木暮理事より終了証が手渡され2日間にわたるセミナーは終了した。

(取材・広報部 皆川雅彦)



●若手支援セミナー●

第4回 「若手支援セミナー」開催

平成29年10月22日、あいにくの雨の日曜日、日本大学桜門会館講義室において、日本大学歯学部同窓会と東京歯科大学同窓会との共催において「第4回 若手支援セミナー」が開催されました。平成25年に本校同窓会主催の「若手支援セミナー」を共催したことにより発足したこの会も第4回を迎え、両校の学術委員会運営の元、今回も、多くの熱気溢れるフレッシュな先生方にご参加をいただきました。

今回は日本大学歯学部の担当で、日本大学歯学部同窓会学術委員 西原英志先生の進行、学術常任理事 柴崎 聡先生の挨拶に続き、本校同窓会学術常任理事 木暮隆司先生の挨拶の後、本会学術委員長 加藤賢祐先生の座長により母校小児歯科学講座教授 新谷誠康先生のご講演と、日本大学歯学部同窓会学術委員長 藤川謙次先生を座長により日本大学歯学部特任教授 伊藤公一先生よりご講演をいただきました。

「若手歯科医師に伝えたい

小児歯科治療の考え方」

東京歯科大学小児歯科学講座教授  
新谷誠康先生

小児の顎・顔面・口腔は発育中であり、年齢が1歳変われば随分と変化します。成人にとって現在の状態はあまり変化のないものとして行いますが、小児の顎顔面は発育中であり駆け足で刻々と変化する中、その後の顎顔面の発育を



新谷誠康先生

予測して行います。つまり小児歯科治療は疾患によって損なわれた器官や機能のみならず、発育を正常な状態に戻し、正しい永久歯列と顎顔面を完成させることを目的としています。萌出や歯列咬合の問題を含め特に小児歯科における幼若永久歯への対応を誤ると患者さんに一生継続する禍根を残すことになりかねません。小児にとっては「今起きていることは、この年齢の子供にとって正常か異常か？」を診断し、「小児の発育を阻害しない方法、あるいは正しい発育を導く方法」を選択し治療を行うことが必要です。(抄録より抜粋) ①小児の治療においては、「局所麻酔」「ラバーダム」が必要不可欠 ②交換期までの期間限定でミニマムインターベーションには意味がない ・直覆は失活の



木暮隆司常任理事

リスクも伴うので生切を選択した方が良い。③失活後の根管治療は必要最低限にとどめ、根管拡大し過ぎないこと。膿瘍切開には眼科用鋭匙が良い。④幼若永久歯の歯髄は根の成長のためにどんなことをしても残したい。(まとめ) 小児歯科は子供が最初に出会う歯医者であり、子供の全体的発育と健康に寄与します。…など「今やっではいけないこと」「これから注意すること」などのお話しをいただきました。



伊藤公一先生

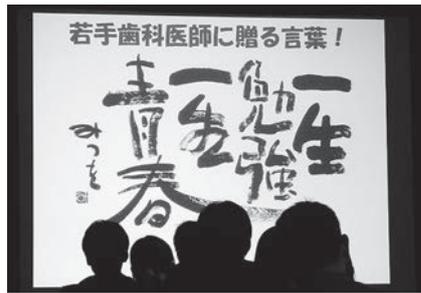
「歯周治療をマスターする」

日本大学特任教授

伊藤公一先生

歯科疾患実態調査によると歯肉に何らかの所見のあるものは国民の70%以上、成人の抜歯原因の約40%以上が歯周病に起因するという。高齢化率が増加し8020達成者は50%をこえているが、認知症率も増加するなど、ライフステージや患者の状況に合わせた中・高年へのアプローチが重要になり、術者中心の治療から患者中心の治療へ、インフォームドコンセントからインフォームドチョイスへと移

行する必要がある。歯周治療の基本である炎症と力のコントロールは、術者と患者の共同作業、術者による患者への支援作業により成り立つという幾つかの症例を提示しながらお話しをいただきました。最後に、再生療法やインプラント治療など「攻める医療」をマスターしたい若手歯科医師の先生方こそ、歯周治療の流れと目的を理解した上で、メンテナンスなどの「支える医療」を大切にしていきたい。また、若手歯科医師へ送る言葉として、相田みつをさんの「一生勉強 一生青春」と



一生勉強

いうメッセージをいただきました。

講師の先生のお話にもあったように現在の日本は超高齢社会とされています。高齢になっても健康で元気な生活に欠かせない口腔の健康を守るための「歯周病治療

の基本」と、大人になってから良好な口腔環境を獲得するために必要な「成長を阻害しない小児歯科治療」について、かかりつけ歯科医として長く患者さんに関わることのできる歯科医師を目指す若手の先生方にとって、とても有意義な講演会でした。

講演会終了後、同窓会早速副会長の乾杯の後、講師の先生を囲み和気藹々と臨床の話に花を咲かせていました。

(取材・広報委員会 佐々木葉子)



加藤賢祐委員長



早速晴邦副会長



矢崎秀昭会長と  
日本大学歯学部同窓会 小幡 純会長



学術委員の先生方

# 母校だより

## 「第49回東歯祭および後夜祭・歯学体成績報告会」開催

去る平成29年10月28日（土）29日（日）の両日、本学水道橋校舎新館において「第49回東歯祭－東歯祭2017－」が開催された。今年度は、広く多くの学外の方にお越しいただけるよう一般公開とし、フロアガイドやイベント情報が記載されたパンフレットを作成するなど、学生諸君の熱意が感じられた。

血協記念ホールでは演劇部、ダンス部、管弦楽部、Big Band Jazz、MLSの各発表と、東歯祭実行委員企画のかくし芸大会などが行われた。7階実習講義室においては、実行委員カフェやプラバン工作体験コーナー、各クラブポスター展示、8階ラウンジでは茶道部カフェなどの各イベントが行われた。また、1階の屋外スペースには、福引き、ダーツ、ヨーヨー釣り、豆運び、水中コイン落としなどの縁日が軒を並べた。

29日（日）は台風の影響によりあいにくの天候と

なったが、多くの方にクラブ発表や展示に足を運んでいただいた。

また、29日（日）夕刻から、南棟において「平成29年度歯学体成績報告会、東歯祭後夜祭」が開催された。同時刻に台風22号が通過したため、ひどい暴風雨となったが、井出吉信学長、矢崎秀昭同窓会長をはじめ、関係教職員と約300名近い学生が出席した。

初めに、東歯祭で開催された「部活対抗かくし芸大会」の表彰や東歯祭企画運営、参加クラブに対する慰労、またオールデンタルでの優秀な成績をおさめたクラブ、個人の表彰や参加クラブに対する慰労が、井出学長と矢崎同窓会長より行われた。

その後、懇親会が盛大に開催され、クラブ部長をはじめとする教職員と学生が親睦を深め、一連の行事が終了となった。



Big Band Jazz 部



バレーボール部



ラグビー部



同窓会長

# 追 悼

## 中久喜 喬名誉教授 歯科麻酔学講座教室葬

歯科麻酔学講座教授 一 戸 達 也



2017年8月2日、中久喜 喬名誉教授が享年91歳でご逝去されたことを受け、9月18日に水道橋校舎新館血脇記念ホールで歯科麻酔学講座教室葬を挙行了いたしました。当日は、ご遺族の他、中久喜先生にお世話になった260名を超える方が参列していただきました。

開式後、全員での黙祷に次いでご略歴の紹介と献奏とが行われ、弔辞をいただきました。弔辞は、学校法人東京歯科大学理事長・東京歯科大学学長

井出吉信先生、学校法人東京歯科大学元理事長・東京歯科大学名誉教授 金子 譲先生、日本歯科医学会会長・日本歯科麻酔学会名誉会員 住友雅人先生、学校法人東京歯科大学常務理事・東京歯科大学同窓会会長 矢崎秀昭先生、東京歯科大学口腔外科学教室同門会精到会会長 榎本洋史先生（柴原孝彦先生代読）の5名の先生方からいただきました。いずれのご挨拶もご自身と中久喜先生との思い出をご紹介いただき、参列者に中久喜先生の在りし日を思い出させる感慨深いものでした。

その後、校歌献唱、葬儀委員長挨拶の後、中久喜喬先生ご令室の中久喜和子様からご挨拶をいただき、代表献花、一般献花と進んで閉式となり、多くのご参列者にご遺骨の出発をお見送りいただきました。

ここに改めて、ご参列あるいはご供花をいただいた皆様に厚く御礼申し上げますとともに、中久喜先生のご冥福をお祈りいたします。

合掌



## 中久喜 喬君を偲ぶ

福岡 明 (昭和23年卒)

2017年8月2日午後4時06分、クラスメイトの中久喜 喬君が黄泉の国に旅立った。2日経って、4日午前に訃報が入った。和子夫人が買い物に出かけている留守中に一人淋しく逝ってしまったのである。その為、検屍などでやっと我が家に戻ったので！と慰めの言葉も出なかった。というのもクラスの中では一番健康で、ここが痛い、あそこが悪いという老人の口癖を聞いたことがなかったからである。加えて明るい令夫人や人懐っこい東京下町の人達との楽しい会話や笑いも常で、これこそ長寿の秘訣と言わんばかりの日常であった。日本橋生まれの同じ下町っ子の私とは気が合い、毎日頃電話での会話も弾んでいた。

お互いに演歌が好きであった。得意曲は小野由紀子さんの“戻れぬ旅だよ人生は”である。過年、小野さんの真鶴の自宅で二人で習ったからである。「♪生まれたことが借りならば生きてくことは返すこと 誰でも裸で産声あげた いらいらしたって始まらぬエンヤコーラ (エンヤコーラ) 前に歩くだけ 戻れぬ旅だよ人生は♪」

私事ではあるが、長男 博史 (昭和58年卒) の仲人を務めて頂いたほどである。病名は何？私はそんなことは気にとめず、早々学生時代からの交流が走馬燈のように浮かんできた。同窓会本部の監事であった彼のお父様から、理事であった私に「うちの息子をよろ

しく」と口癖のように頼まれ、当時麻酔学教室の助教授であった彼をあらためて意識した。開業しながら生理学教室の研究生でもあった私は彼の教室を訪れ、よく新知識の吸収や歓談相手をしてもらっていた。故 鹿島俊雄理事長のお声がかかりで、麻酔学教室の非常勤講師として学生に「歯科臨床の東洋医学的療法」の手ほどきを講義したのも、主任教授であった彼の協力があったからであると思う。大学副学長まで務めた彼の業績は一戸教授他教室員にお任せしたいが、浅草っ子の彼は常に謙虚で下町独特の義理人情に厚く、長年クラス会会長として会員の動向を詳細に把握していて、事細かに面倒をみて下さった。

前号の同窓会報に彼の遺稿“いづみ会便り”がある。2016年11月24日恒例のいづみ会総会 湯河原の老舗旅館山翠楼にての報告である。クラス会リストに存命と名のある友はもはや25・26名で、今回の参加者は中久喜君をはじめ、岸田 昭君、林 和男君、私の4名で、そのうち岸田君を除く3名は皆付き添い同伴で、もっとも卒寿を迎えた者ばかりである。残念なことに、昨秋89歳まで歯科臨床に従事していたと威張っていた岸田君も突然逝去したと聞かされた。

入学以来72年の回顧談に花を咲かせ、時間の経つのも忘れていた。皆の健康を考え今回で最終の会にしようと、中久喜君はその折、“卒寿は通過点です。目の先



2014年1月 福歯会新年の集い (帝国ホテル) にて米寿祝  
左：野本種邦君 右：中久喜 喬君

に白寿、百寿が待っています。皆元気で更なる長寿を祈りましょう!!”と挨拶をしたのに…。

また、この1年に中久喜君と同じ親交のあったクラスメイトが次々に逝ってしまった。前述の岸田昭君をはじめ、慶應義塾大学医学部教授を務めた後、私の法人の顧問としてご指導下さった野本種邦君。そして首席で卒業、私と同じ日本橋で開業、また学校法人の評議員を私の後に務めて下さった三宅直晴君。

私の身近で親しく交流していた友が次から次へと逝ってしまい、流石に老齢を感じる今日この頃である。

“散る桜 残る桜も散る桜”と辞世句を詠んだ良寛のような心境に何時なれるものか、寂しい限りである。

諸兄のご冥福を祈り、老爺の長文御容赦願いたい。

# 支部のうごき

## 関東地域支部連合会

平成29年度 総会・報告会・懇親会

平成29年9月3日（日）浦和ロイヤルパインズホテルにおいて、平成29年度東京歯科大学同窓会関東地域支部連合会総会・報告会・懇親会が開催されました。例年支部長会として各支部の報告を行っている時間を、今年度は総会の場とし、各支部より支部長他役員1名、本部より矢崎秀昭会長、白井文規専務理事、大野勝己地区理事（茨城県支部支部長）、オブザーバーとして財部正治副会長、岡村常任理事にご臨席いただき、各議事及び協議を行いました。女性会員活動推進委員会の今後の活動、若手会員の動向、卒後10年位までの会員の把握について質問（要望）があり、また、支部長任期と評議員任期の整合性、各支部会則の制定状況、今後の関東地域支部連合会総会のあり方についてなど



笠原正貴教授

が協議題にあげられ、白井専務理事、中島常任理事（神奈川県支部連合同窓会専務理事として出席）に説明していただきながら各支部の意見をうかがいました。その後、連合会会員への報告会では、東京歯科大学 井出吉信理事長・学長による大学現況報告、白井専務理事による本部会務報告と事前質問への回答がPPTを使って行われ、埼玉県支部 大井誠一幹事長から連合会の会務報告がありました。次期当番県の山梨県支部 末木 稔支部長の挨拶、埼玉

県支部 植野順子副支部長の閉会の辞をもって閉会となりました。学術講演会では埼玉県支部 小杉憲吾学術部長（H7卒）が司会を務め、東京歯科大学薬理学講座主任教授 笠原正貴先生を講師にお迎えし、「漢方を知る～漢方の基礎知識と使ってみたい漢方薬～」という演題で、歯科保険適用7種類に加え、開業医自身も試してみるとよいと思われる漢方薬についてご教授いただきました。その後、埼玉県支部 金子久章厚生部長（H2卒）の司会のもと、112名の参加者を得て懇親会が開催され、埼玉県支部 橋田博純副支部長（S58卒）の開会の辞の後、ご来賓の埼玉県歯科医師会 島田篤会長にもご挨拶頂き、埼玉県歯科医師会 小杉國武副会長（S44卒）の乾杯のご発声から歓談の時間となりました。2時間後、宴も終わりの時間になり、最後に関東地域支部連合会の各支部長と井出学長にご登壇頂き、石塚一美先生（S49卒）のリードで校歌を4番まで斉唱しお開きとなりました。（昭和61年卒・岡村美恵子 記）



## 東京地域支部連合会

### 平成29年度 中央地区役員連絡協議会報告

平成29年10月6日（金）午後7時より、肌寒く時折強い雨の降る中、日本橋「たいめいけん」にて開催されました。

来賓として本部同窓会専務理事 白井文規先生（昭和55年卒）、東京地域支部連合会会長早速晴邦先生（昭和49年卒）をお招きし、その他24名の中央地区の支部長、副支部長など計26名の先生方にお集まりいただきました。

今回は中央区の京橋支部と日本橋支部が幹事支部という事で、開会を京橋支部長 吉田浩一先生（昭和58年卒）、司会進行を日本橋副支部長 福井雅之先生（昭和61年卒）が行ないました。白井先生、早速先生に来賓のご挨拶をい

ただいた後、白井先生から詳細な同窓会報告をお聞きし、麻布赤坂支部長 鶴沢文彦先生（昭和47年卒）の乾杯のご発声で宴が始まりました。

たいめいけんの宴席はビーフシチューやエスカルゴ、エビフライなど多くの洋食の小皿料理を中心に数品の和食も織り交ぜ、いろいろな味を楽しませてくれます。

お腹もだいふ満たされたところで、事前に各支部にアンケートを行なった集計結果について報告がありました。多くの支部で新入会員が増加しない、役員のなり手がおらず恒常化しているというご意見がありました。また、同じ区の支部同士、合同で理事会や講演会、懇親会を行い、同窓の絆をさらに深めているところもあり、血



脇イズムが継承されていることを大変心強く感じました。

和気藹々和やかな雰囲気の中、日本橋支部長 高橋英史先生（昭和59年卒）の閉会でお開きとなりました。

来年の幹事支部は千代田区の3支部（千代田・麴町・丸の内）になります。

（昭和63年卒・日本橋支部専務理事 中村泰規 記）



## 信越地域支部連合会

### 平成29年度 長野県連合総会 信越地域支部連合会総会

平成29年9月9日、千曲市戸倉上山田温泉のホテル清風園にて「平成29年度東京歯科大学同窓会長野県連合総会 信越地域支部連合会総会」及び記念講演会・懇親会が執り行われました。

秋晴れの爽やかな気候の中、多くの先生にご出席をいただきました。

まずは長野県連合総会、その後信越地域支部連合会総会が執り行われました。

長野県連合会長青木篤敬先生・信越地域支部連合会長阿部晴弘先生のご挨拶の後、東京歯科大学同窓会会長・矢崎秀昭先生、同窓会専務理事・臼井文規先生、東京歯科大学学長（代理）・野村武史教授よりご祝辞をいただきました。

同窓会の矢崎先生・臼井先生からは東京歯科大学同窓会の現状について、会の運営・支援・協力について、熊本地震支援活動・被災地視察報告について等のご説明をしていただきました。

残念ながら井出吉信学長は都合

によりご欠席となりましたが代理として野村武史教授より東京歯科大学の現状及び今後の展望、昨年度の国家試験の結果についてのお話を頂きました。

長野県連合総会及び信越地域支部連合会総会は会務報告・会計報告・監査報告など議事も滞りなく進行し無事総会を終了することが出来ました。

総会終了後、野村武史教授による記念講演会が行われました。

### 「歯科医師が癌に関わる3つの話題」

上記を演題として「がん患者の周術期口腔機能管理」「骨吸収阻害薬投与患者への歯科的対応」「口腔がんの早期発見」についてのご講演でした。

がん治療における周術期口腔機能管理は、がんの三大療法である外科療法・放射線療法・化学療法に続く第4の治療・支持療法（サポर्टティブケア）として機能して術後合併症を減少させ入院日数を減少させているとの事。

骨吸収阻害薬投与患者への対応



については歯科と医科の連携が何より大事だという事。

必要があって骨吸収抑制薬が使用されているのであれば予防的休薬なしで治療を行うようにしているとの事

顎骨壊死が起きたとしてもテリパラチド療法により好結果が得られるようになったとの事。

口腔がんは子宮頸がんと同頻度の患者数で子宮頸がんより死亡率が高く、歯科でのがん検診が重要であるとの事。

多職種が緊密に連携するチーム医療が何よりも大事であるとの事。

上記のような臨床の現場で大変有益で興味深い講演をしていただき、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

講演会後の懇親会では長野県歯科医師会会長・春日司郎先生、更科歯科医師会会長・滝澤久先生からもご挨拶をいただきました。

このように多くの先生方のご参加・ご協力をいただきまして、長野県及び信越地域支部連合総会を無事に終える事が出来ました。

この場をお借りして御礼申し上げます。

（平成7年卒・渡邊 裕 記）



## 青森県支部

### 社保勉強会&ビアパーティー

平成29年8月26日(土)、青森県支部では恒例となった社保勉強会&ビアパーティーですが、今年いつもの青森市ではなく弘前市で開催されました。

弘前歯科医師会館では平成8年卒佐藤雄大先生の進行で社保勉強会が行われました。まず昭和

60年卒の熊谷恒先生から社保の種々な注意点の解説がありました。平成2年卒の清藤浩也先生はクイズ形式で一人ひとり指名し、楽しく教えてくださいました。まるで学生に戻ったような気分でした。

場所を「土手町ビアバイキング」に移し、ビアパーティーとな

りました。重鎮の昭和26年卒成田文治先生の乾杯の発声で楽しい宴が始まりました。6月に青森で開催された東北歯連の慰労会でもありましたので、二次会も更にその後も…?弘前での同窓の楽しい輪はいつまでも続いていくのでした。

(昭和63年卒・古川由美子 記)



熊谷 恒先生



清藤浩也先生



社保勉強会



畑中政利先生



成田文治先生の乾杯



ビアパーティー

「北のまほろば」青森での集い

第81回全国学校歯科保健研究大会が10月26日（木）、27日（金）の両日に渡り、青森市のリンクステーションホールにて開催されました。青森県歯科医師会会員と日本学校歯科医会の先生方を含めた100名超のスタッフで大会の運営にあたり、2日間で1,000名近くの来場者があった大規模な大会でした。大会実行委員だった私は前日も会場設営やリハーサルに参加し、大会本番を迎える準備も万全となった夕刻から次なる舞台へと足を運びました。

実はここからが本題です。東歯同窓の「集い」があるというのです。今回の大会長は同窓の大先輩で日本学校歯科医会会長の川本強先生（昭和44年卒福祉会）であり、更に川本先生は私の父 船越良一の口腔外科第二講座時代の直属の先輩でもありました。そして大会実行委員顧問で日学歯副会長を務める齋藤秀子先生（昭和48年卒七十八期会）、大会実行委員として名を連ねる日学歯理事の鈴木



岩塩担当の筆者



日学歯川本会長、齋藤副会長と地酒「豊盃」

博先生（昭和56年卒水公会）、同じく日学歯理事で東歯同窓会広報委員でもある阿左見葉子先生（昭和60年卒三春会）の4名を、同窓会青森県支部の有志数名がもてなすという企画の「集い」でした。

同窓会青森県支部長の長内幸一先生（昭和52年卒八十二期会）は青森県歯科医師会副会長で同大会の実行委員会副委員長も務めており、会長招宴を終えた川本先生と齋藤先生を会場にお連れし、このタイミングで同窓会のおもてなしが本格スタートしました。

多くは語りません。皆様の晴れやかな表情から「集い」の充実度がお分かりいただけるのではない

でしょうか。紙面の都合上、細かくは掲載できませんが、大会を通じて多くの東歯同窓間の交流が花開きました。全国規模の大会を成功に導き、新たな出会いの場を提供する務めを担った同窓会青森県支部は、影でひっそりと貢献したと自負しております。改めまして同窓の皆様へ感謝申し上げます。

（平成10年卒・船越朋輝 記）



長内支部長（後列中央）から右へ川本日学歯会長、父 船越良一、本田前支部長 楽しい面々と青森の夜

## 横浜鶴見支部

### 鶴見東歯会 家族レク開催

8月26日（土）午後6時より、京急鶴見駅に程近い「パサタイ」において18名参加のもと鶴見東歯会会員・家族・従業員レクリエーションが開催された。

横浜に居ながらにして世界の料理を食べ尽くす第12弾は、微笑みの国「タイ」へ。本場の味わいが楽しめるタイ料理店を貸し切り堪能した。

定刻となり、佐藤秀夫会長が挨拶し、参加最年長の香山欣哉先生の声高らかな乾杯の発声でレクリエーションがスタート。夕暮れ時であるものの外はまだまだ蒸し暑く、あらかじめキンキンに冷やされたジョッキに注がれた生ビールが飛ぶように追加注文され店員さんも驚きを隠せない。

コース料理の一皿目は「空芯菜のタイ風炒め」中華料理ではよく目にする空芯菜炒めに似て非なり。シャキシャキの食感の空芯菜はピリッと辛くてスパイシーでナンプラー（魚醤）がほんのり香り、お箸もビールも止まらない。

続いて、タイバジルも薫る「タイ風の肉団子」には「ハイボール」が良く合いクイクイ進む。

お待ちかねの辛味と独特な酸味がたまらないタイの代表的スープ「トムヤムクン」海老の出汁もスープに滲みて濃厚なのにさわやかな味わいには「赤ワイン」もいいのではとタイの赤ワ

インを特別注文。比較的さっぱりとした味わいの赤ワインとの相性抜群。

「パパイヤサラダ」「ラム肉の酸味ソース和え」も本場タイの味わい。

なぜかコースにない「パイナップルチャーハン」もいつの間にか注文されワイワイと談笑の輪が広がった。

毎年恒例の「会員近況報告」も笑顔いっぱいの中で披露されそれぞれが近況を語った。

メの「パッタイ」（ビーファンを使ったタイの焼きそば）を食べながらここで吉田礎久先生のご息尚広君（本学3年生）によるミニ講演が行われた。尚広君はこの夏休みに行ったフィリピンで歯科事情の一端を学んできたそうである。

「来週から講義や実習が再開し、また忙しい毎日が始まりますが、広い視野で物事が見られるような歯科医師を目標に研鑽していきたいです」と堂々と自信に満ち

た講演に大きな拍手が送られた。

最後に吉田礎久先生の「微笑み」あふれる閉会の辞の後、記念撮影をしてお開きとなった。

（平成9年卒・宇佐美貴弘 記）



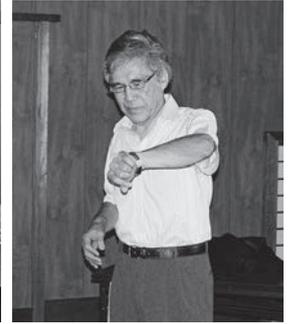
## 横浜西部支部

### 平成29年度 秋の一泊総会

今年度の総会は、10月11日水曜日午後5時より、箱根湯本温泉萬翠楼福住にて隔年開催となった一泊で行われた。ご来賓として、東京歯科大学神奈川県支部連合同窓会会長 西山 潔君と、東京歯科大学名誉教授で東海大学医学部医学研究科客員教授の水口 清君をお迎えした。当番区は旭区で、出席人数はご来賓を含めて13名であった。

総会は、萩原 功君の司会の下、式次第にのっとり、支部長挨拶、ご来賓の挨拶のあと、各種報告が行われ、出席者全員による承認を得た。

今回は議決事項として、辻村育郎支部長の2年の任期終了に伴い、次期支部長について話し合われた。佐藤信之幹事のご発言で、出席者全員の賛成をもって、来期も辻村支部長にお願いすることで



決定し、承認された。最後に、増田裕子副支部長の挨拶で閉会となった。

その後、武居 純君の司会の下、水口 清君の学術講演が行われた。演題は、「個人識別の事例から」で、顎顔面領域に関連する画像から個人識別を行ってきた事例の紹介であった。20数年前より、試行錯誤の上独自の解析方法を編み出した情熱に、一同大変興味深く講演を聞いた。

次に佐藤信之幹事の発声の下、乾杯が行われ会食となった。おい

しい懐石料理に舌鼓を打ち、楽しいひと時も瞬く間に過ぎた。宴もたけなわではあったが、最後に一同記念撮影をしてお開きとなった。

(平成14年卒・渡瀬秀彦 記)



## 静岡県支部

平成29年7月9日第2回学術大会



佐藤教授と神田会長と5人の演者



学術大会はレイアップ御幸町ビルで行われました。座長に東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座主任教授の佐藤 亨教授を迎え、開催されました。

まず、最初に静岡県袋井市で開業されている、鈴木 龍先生の「QSシグナル阻害剤としてのアジスロマイシン」続いて東京歯科大学 口腔インプラント学講座、喜田晃一先生の「フルバスタチン局所投与の担体としてのアテロコラーゲン／ゼラチン複合体の物性」、歯内療法学講座 佐野陽祐先生のラット歯髄における窩洞形成後のCD90の発現」、老年歯科補綴学講座 鈴木 薫先生の「純チタンのグレードの違いと表面処理が疲労特性に与える影響」解剖学

講座准教授 松永 智先生、「デジタルファブ리케이션が変える歯科医療」5人の先生方の発表を行いました。

鈴木 龍先生は、インプラント治療が一般的になってきた昨今、インプラント周囲炎が問題となってきた。感染は上皮組織を壊してインベーターが体内に進入することである。実際、細菌はバイオフィームの中において薬は無力に等しいとのこと。今回、抗バイオフィーム剤としてアジスロマイシンを40日間中期投与し、90%を越える症例で効果があったと報告しました。

喜田晃一先生はスタンチン系薬剤の骨形成の促進機能に着目し、局所投与法の研究に、フルバスタチンをゼラチン (Gel) とアテロコラーゲン (AC) の複合体を作製し静電気相互作用によって担持応用した。複合体は担体と同じ多孔性を示し、ラットの大腿骨へ応用しフルバスタチンの徐放速度が遅延し、AC/Gel複合体はフルバスタチンの徐放の抑制が可能であると報告した。

佐野陽祐先生は、窩洞形成を行った際のCD90陽性細胞の発現及び局在を明らかにすることで、歯髄修復の際の幹細胞動態を明らかにした。窩洞形成後1日目においては窩洞直下のCD90及びNestinの発現が減少した。3日目においてCD90の発現はなく、Nestin陽性細胞の発現が少しあった。5日目では修復象牙質及び象牙細胞の発現が認められた。

Cd90陽性細胞の象牙細胞層での発現はなかった。

鈴木 薫先生は、純チタン性のインプラントと破折に着目し、純チタンのグレードと表面処理の違いが疲労特性に与える影響をあきらかにした。機械加工郡、表面差より郡に分け、アルミナショットブラスト、及び塩酸と硫酸によるエッチングを行った。静的加重と動的加重を加え、表面処理の有無に関わらず、G4の純チタンはG2と比較して繰り返し加重により降伏力の低下する割合が多いことが示唆された。

松永 智先生は、現在は、10年前には見られなかったデジタル機器が浸透してきていることを説明し、東京歯科大学では日本初の医療系ファブラボ (CAD/CAMや3Dプリンタ等を用いて治療に有用な様々な物を作るデジタルラボ) を2014年に設立し、臨床分野と基礎分野の橋渡し研究について、急速に今後) 転換していく医療の潮流の中で、歯科のかたちかどの様に変化していくかを考察した。

学術大会の後は、場所を静岡駅パルシェのフードピアットに移し、懇親会を開始しました。いつもと違った雰囲気での懇親会で、各学年ごとに集まって、和気相合に時間を過ごして行きました。いつもと違い、校歌の斉唱もなく、三々五々夜の街に消えて行きました。(昭和57年卒・辻 吉純 記)

## 滋賀県支部

### 平成28年度 総会・講演会・懇親会 北朝鮮拉致被害者の身元を 特定するには…

平成29年3月5日（日）午後、ポストンプラザ草津において、定時総会、講演会、懇親会が開催された。

総会は住井正勝専務理事による司会の下、中村 忠副会長の開会の辞で始まり、校歌斉唱、物故会員への黙祷（今年度は藤居正太郎先生がお亡くなりになっている）、松田康男支部長の挨拶、来賓の橋本正次副学長からは、挨拶と大学の近況をお話いただいた。

議長の松田康男支部長のもと、議事も粛々と進行し、全て承認された。その後報告事項が伝えられ、藤居正博前支部長への記念品の贈呈にて終了した。

引き続き、来賓の法歯学・法人類学講座 橋本正次教授に「大規模災害犠牲者身元確認と臨床歯科医」という演題でご講演いただいた。

身元確認における家族対応について日本人と外国人との注意すべき相違、文化の違いや北朝鮮拉致被害者、金 正男氏特定に関する話など非常に興味深い内容であっ

た。

懇親会は瑞宝双光章を受章された高橋義弘先生へのお祝い贈呈の後、最長老の石田喜之先生の乾杯で始まり、和やかな雰囲気の中、交流を深めることができた。

最後に故 島野達也先生が学生時代作詞された東京歯科大学予科逍遙歌「夕日は沈み」を皆で歌い、中村 忠副支部長の来年もまたお会いしましょうという挨拶で散会となった。

（昭和57年卒・高田克重 記）



# クラス会だより

## 踏 志 会

昭和41年卒

紅葉?には少し早い、平成29年10月13日～15日にかけて、第52回踏志会は19年振りに京都で開催されました。13日御所近くの京都ブライトンホテルに三々五々集合、夜には忠臣蔵でおなじみの大石内蔵助が豪遊したと言われている、京都・祇園の中でも最も格式高い由緒あるお茶屋「一力亭」で希望者36名が集い、芸・舞妓とお座敷遊びをして、美味しい京料理を堪能し優雅な一時を過ごしました。翌14日は9時ホテルを出発、世界遺産三寺巡りをしました。真言宗総本山東寺では、金堂並びに講堂を訪れ弘法大使を偲び、次に改修なった宇治・平等院へと足を向け、昼食には隠元禅師によって開創された黄檗山万福寺にて普茶料理を頂き、その後太閤豊臣秀吉が贅を尽くし花見の宴を行った醍醐寺（三宝院、金堂、五重塔、霊

宝院）を訪れました。ホテルに戻り後着組と合流、18時より総会、会務報告、次期開催地の案内（本間君の担当・日光中禅寺湖金谷ホテル）があり、その後祇園甲部の芸・舞妓をまじえ、一年振りの旧交（卒業以来初めての級友とも）を温めました。明けて15日朝から雨模様の中、紫式部の邸跡で源氏の庭などが残る蘆山寺に赴き、管長自らの講話を特別拝観の御堂で拝聴しました。この日も世界遺産巡りです。“地に落ちし葵ふみゆく祭かな”正岡子規も詠んだ葵祭りでも名高い上賀茂神社と下鴨神社へ向け出発。上賀茂神社（賀茂別雷神社）ではちょうど笠懸神事の準備?で神馬に出会うことも出来、昼食を西尾八ッ橋にて京のおばんざい風松花堂弁当を食し、下鴨神社（加茂御祖神社）へと向かいました。この頃には雨も



本降りとなりましたが、お神楽の奉納等色々な行事があり、偶然のチャンスに喜びを感じ御利益を頂戴しました。

今回は生憎の空模様でしたが、二日間で五か所の世界遺産を巡り、来年の再会を約束しそれぞれ帰路につきました。

尚、9月京都のクラス会を楽しみにしていた吉岡政雄君が鬼籍に入られました。残念です。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

(対馬具海 記)



クラス会開催日程

翔 蜻 会 (昭和55年卒)

と き 平成30年 2月24日 (土)

と ころ 石川県金沢市

八十二期会

昭和52年卒

平成29年10月7日東京歯科大学同窓会82期会を開催致しました。

今回の会場は明治の文傑 森鷗外に思いを馳せるのも一興かと、上野水月ホテル鷗外荘を選び、クラス副主任として我々をご指導下さいました細川伊平先生をお迎えして、初めて顔を見せてくれた会員も含めて44名の出席を得て盛会となりました。

都内第一号の天然温泉で旅の疲れを洗い流してから、開会の辞に続けて、82期会会長岡野昌治会員の挨拶の後、大島慶子会員を議長に選出して総会を開き、物故会員への黙祷をささげた後、各種の報告を行い、次回同期会は松木建二会員を大会長として、四国で2019

年に開催する事と決定しました。提案された日程は徳島で阿波おどりを見学して、翌日松山で同期会を開く2泊3日コースですが、途中参加も可能なプランも考えたいとのことでした。

続いて懇親会、また各地の名産品等を多数の会員から差し入れを頂いての二次会にて旧交をあたため、再会を約して散会となりました。翌日は博物館や美術館、寄席等で思い思いの休日を楽しんだようです。

なお同期会皆勤賞を更新中の増田隆宣会員ですが、怪我の為、一度は出席を断念したようですが総会の冒頭に顔を見せてくれました。

皆様、次回同期会には是非ご出席ください。

(付記)

森 鷗外について  
森 鷗外は幕末動乱の時代に御典医の息子として生まれ医を志し、19才の若さで東京大学医学部を卒業し軍医として活躍する一方文才を発揮し、文壇に確固たる地位を築きました。鷗外荘には代表作の一つ「舞姫」を執筆した部屋が保存されており、当日参加の会員にも、鷗外の面影と明治の浪漫を感じてもらえた事と思います。

(武井壽夫 記)



## 八 実 会

昭和53年卒

平成29年9月9日（土）八実会が東京後樂園ドームホテル42階スカイバンケット「オリオン」にて午後5時より開催されました。前年度は北陸新幹線の開通のこともあり、北陸三県と同級生のみなさんで特に富山県の方にお世話になり開催をしました。とても好評でした。ありがとうございました。

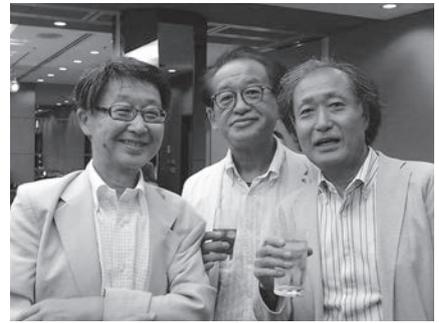
今年度はいつものドームホテルですが、関東地方のみなさんをはじめ九州地方の永江君、安部君はいつも遠い所から参加ありがとうございます。安部君からはもっと早めに開催時期を教えてほしいとのこと、「飛行機のチケット代が実際の購入ではかなり高額になってしまう、せめて早割が使える次期に案内を出してほしい」とのこと。関東に住んでいる我々にはその辺の考慮がたりない気がしました。以後申し伝えます。

学年主任の浅井先生も体調が優れず、ご参加は見送られました。

我々八実会の会合は卒業以来他の学年に比べ開催回数も内容も引けを取ってはいないと思います。私自身会長を7年間勤めさせていただきましたが、事務的存在でいつも案内状の送付や慶弔の知らせを送ってくれている蛭谷君の存在

が大きかったことを感じています。ありがとうございました。次期会長は静岡県の亀井君にバトンタッチし、次回は静岡県での八実会の開催を予定しています。ぜひまた多くの八実会のみなさんが参加していただけることを願っています。

（大井誠一 記）



# 水 公 会

昭和56年卒

「水公会 in 山形」と題して9月30日～10月1日、将棋の駒で有名な天童温泉 滝の湯ホテルにてクラス会を行った。幹事は太田俊子君、奥山泰夫君、菊地敦子君（旧姓 豊田）、公平善啓、山形県在住の同級生4人で、ホテルで懇親会、二次会、宿泊。翌日は山寺立石寺、蔵王のお釜などを観光した。

参加者は総勢9名と少人数ながらも、懇親会では山形の有名な地酒、名物いも煮、山形牛を堪能しながら、こじんまりと纏まり、各自の近況報告を交え、夜遅くまでお酒を酌み交わし、親しく語り合い、大いに盛り上がった。卒業後、初めて会ったにもかかわらず、あっという間に30数年前にタイムスリップ。同じ学び舎の凄さ

というものが、いくつになっても同級生という当たり前のことに改めて感動を覚えた。

翌日は、絶好の晴天に恵まれて、将棋の駒製作実演を見学後、山寺の奥の院まで1,000段以上の石段を上着一枚脱いで、汗を拭いながら皆で登り切り、五大大堂では秋風に涼みながら眼下の景色を眺め、下山後は山形のお蕎麦を堪能していただいた。昼食後、ちょうど見ごろの蔵王の紅葉を鑑賞しながら、

お釜へと向かい、その絶景で記念写真。そして再会を約束しながら、山形駅で解散となった。小林顕会長、飯田君、宇井君、渋谷君、平川君、遠いところ来てくれてありがとう。

（公平善啓 記）



蔵王のお釜



滝の湯ホテル 中庭

# 水 真 会

昭和58年卒

卒業して34年が経過した我々水真会は、10月14日水道橋校舎本館にて総会と講演会を開催しました。総会は会長の小林慶太君の挨拶から始まり、議長に栗原由紀夫君を選出し、まずこの2年の間にご逝去された名誉会員の齋藤文明先生と同級生の千葉 緑君に対して黙祷を捧げた後、円滑な進行の中にも報告、議題等が慎重審議され滞りなく総会は終了しました。次に板谷賢二君の司会で講演会に移行し、同級生の中から小林慶太君、大多和由美君そして杉山哲也君の3名に今回は講師をお願いしました。小林君は本年6月から2期目の日歯常務理事に就任し、「日歯の目指す専門医制について」と題して学術・国際渉外担当理事の仕事内容や、現在日歯が考えている歯科医師の専門医制の在り方

についての話を、大多和君は本年4月から本大学に新設された短期大学の教授に就任し、「東京歯科大学短期大学歯科衛生学科 開校しました」と題して衛生士教育についての話を中心に、杉山君は昨年12月から口腔健康科学講座の摂食嚥下リハビリテーション研究室准教授に就任し、「今、東歯で何を教えてるの？ - 求められる歯科医師養成のために - 」と題してお話をいただき、参加者は興味深く拝聴していました。特に学生教育については、今の学生は我々が学生だった30年以上前と全く違った環境にいることに驚かされました。名誉会員の高添一郎先生も参加いただき、大変有意義かつ重要な意見も頂戴しました。講演下さった3名に対し鳥居副会長から今後のますますの活躍とお礼の言葉を締

めとして講演会は終了しました。

講演会の後、懇親会は場所を神保町の「新世界采館」に移動して、伊藤彰人先生、田中丸治宣先生の名誉会員をお招きして、両先生のご挨拶、ならびに乾杯の音頭で開宴しました。宴中盤には大多和君、杉山君に対しそれぞれ教授、准教授就任のお祝いをし、また伊藤先生、田中丸先生の近況報告ではご両人ともまだまだ現役で仕事をし、趣味を持って日々を元気に送っているお話に感動しました。その後同級生からも近況報告をしてもらい宴も終わりかけの頃、日歯の公務で中座していた小林君と本学教授の古澤成博君、そして日大口腔外科教授の外木守雄君もかけつけ、和やかなうちにこの場は終宴となりました。

そして二次会を「日比谷 Bar

神保町店」に移動し、夜が更けるまでお互いお酒を片手に近況や昔話に花を咲かせ、若かりし学生時代にタイムスリップしたようでみんな楽しい時間を過ごすことができ、最後にまた2年後にみんな元気な姿で会う事を約束して散会となりました。

(鳥居一也 記)



### 三 春 会

昭和60年卒

#### 池野谷 肇先生陸将補昇任祝賀会

昭和60年（1985年）卒の有志の同級生による、初の1泊旅行が平成29年9月16日（土）に熱海温泉秀花園湯の花膳にて開催されました。今回の旅行は定例（5年毎）で行われている同窓会としてではなく、同級生である池野谷 肇君の陸将補昇任のお祝いの宴席として池野谷君のリクエストに応え浴衣姿での開催となり33名が参加されました。

当日は、大型の台風18号が九州へ上陸しゆっくりと本州へ接近していたため、その影響による雨模様となりましたが、18時集合開催予定にも関わらず、熱海温泉ということもあり多くの同級生が開催時間前に到着し温泉へ向かいました。屋上の露天風呂では、久しぶりに顔を合わせたためか、既に昔話や現況報告を始めており、その後の宴会の盛り上がりを大いに予想させる展開でした。

我々の同窓会三春会会長の湯澤君により開会の挨拶がなされ、その後、池野谷君自身により今までの経歴を公表いただきました。

本来であれば、お祝いする方をこちらからご紹介するところですが、今回は、池野谷君から事前に用意いただいた写真を東海大形成外科教授の赤松君がプロジェクターを使用して投写し、ご本人か



ら説明いただいたため逆に臨場感を伴い多いに盛り上がりました。経歴は池野谷君の幼少期から始まり、大学時代の活動時期、卒業後の自衛隊入隊時の裏話や多方面での駐屯時期のお話でしたが、ご自身の性格がকাশい出すほっこりとした場が和むとても楽しい時間でした。

その後はお酒も入り、時間の許す限り談話を楽しみ、いたるところで笑いが起きる、まるで学生時代に戻ったかのようなひと時でした。

宴席も進み、池野谷君からお礼の言葉を頂いた後、自衛隊直伝の正しい万歳のやり方を解説され、参加者全員で万歳を行いました。ちなみに手の平を相手に見せると白旗を上げる降参と同じ意味となるため手の平は自分に向け、手を上げる時に安定した姿勢を保つために右足を軽く前に出すと教えて頂きました。

最後に、池野谷君のリクエストに叶う浴衣姿での集合写真をパチリ！

年齢的に地区での役職等お忙しい中での宴席でしたが、写真のお



自衛隊直伝「正しい万歳の仕方」



顔を拝見すると、日頃の忙しさが多少なりとも緩和出来たのではないかと思える素晴らしい会だったと思えます。

最後にこの会の開催にあたり、植田君を中心とした幹事の皆様に感謝のお礼を述べ、筆を置きたいと思えます。

（相庭常人 記）



## OB会・グループ・サークルだより

### 東京歯科大学空手道部

#### 澤田 隆先生大学定年退職と空手道部部長退任を慰労する会

平成29年4月29日に、庭のホテル東京において、澤田 隆先生（昭52卒）の東京歯科大学定年退職のお祝いと、あわせて長年務めてこられた空手道部部長退任を慰労する会が開催されました。OB会副会長の佐々木眞澄先生（昭58卒）による開会の辞に始まり、会長藤居弘通先生（昭55卒）のご挨拶で、40年余りにわたり空手道部の発展にご尽力いただいた澤田先生に慰労の言葉がありました。続いて来賓の和道流空手道連盟 三代宗家 大塚博紀先生によるご祝辞の後、北海道から遠路参集された松崎絃一先生（昭46卒）のご発声により乾杯しました。宴もたけなわとなったところで、空手道部OB会から澤田先生に感謝の意を

込めて花束と記念品（空手道着）が贈られました。これを受けて先生から御礼のご挨拶があり、ご自身の研究活動の一端と、学生時代から現在に至る空手道部での歩みについて懐かしい写真を交え紹介されました。過去には30名以上の部員を抱える黄金期があり、部員同士はもちろん、他大学の学生とも技を競っていたとのこと、今昔に堪えません。

空手道部は、平成30年に創部60周年を迎えます。部員減による幾多の危機もありましたが、これほど長く存続できたのは先輩から脈々と受け継いできた空手道部の伝統と、和道流の訓え「敬 愛 礼」の精神があったからに他なりません。会の終わりに本年度から



新部長になられた加藤哲男教授からご挨拶があり、空手道部の良き伝統を引き継いでいきたいと抱負を述べ、締めくくられました。記念写真撮影の後、空手道部主将、宍戸勇介君とOBの先生方による恒例のエール交換が行われ、無事閉会しました。

（平成27年卒 高崎史義 記）



## バスケットボール部OB・OG会総会



野田先生挨拶



黒澤先生



村田OB会長挨拶

平成29年7月16日（日）19時より、飯田橋ホテルメトロポリタン エドモンドにおいてバスケットボール部OB・OG会総会が開催されました。

OB会幹事・高野智史先生（平18卒）の司会のもと、まず現役男子部・女子部主将より昨年度やここ最近の成績および今年度行われる歯学体についての報告がありました。男女ともに、今年の春から中村光博先生（元本学教養科目体育学教授）にコーチをお願いし、歯学体優勝を目指して日々練習に取り組んでいるとのことでした。次いで、野田 修先生（昭53卒）より、昨年度、富山県で開催された歯学体での激励会についての報告がありました。「激励会にはプロバスケットボールBリーグ1部中地区所属の地元チーム・富山グラウジーズの水戸健史・田中健介両選手にも参加して頂き、現役部員の良い刺激になった。今年度の歯学体は岡山県で開催されるので、またこのような会を開いて頂き、応援していきたい。」とのお話を頂きました。

次に、「現役部員への支援」について協議されました。現在、現役部員は、平日は都内の体育館を借り、土曜日は稲毛の体育館に移動して練習を行っており、体育館使用料や交通費を部員が自己負担している現状についてOB会からの援助が提案され、了承されました。協議終了後は懇親会にうつり、黒澤祐一先生（昭51卒）の乾杯のご発声のもと宴会が始まり、

OBの先生方や現役部員は楽しい会話の中、親睦を深めました。

最後に、OB会長の村田憲一郎先生（昭50卒）から、「今後は、現役部員の士気向上のためプロバスケットボール選手の試合を観戦する機会を設けたい。」という提案を頂き、中締めとなりました。

このように、バスケットボール部OB・OG会では様々な形で現役部員を支援していきたいと考えています。今後もOB・OGの先生方には引き続きご協力をお願い致します。また、OB・OG総会への出席者が年々減少傾向にあります。ご多忙とは存じますが、同年代等でお誘い合わせの上、是非多くの先生方にご出席頂ければと思います。

（平成25年卒 井戸川香代、  
平成27年卒 秋葉知里 記）



## 平成29年度 口腔外科学教室 精到会総会・講演会・懇親会を開催

平成29年9月2日（土）16時より、ホテルメトロポリタンエドモント（飯田橋）にて、平成29年度精到会（口腔外科学教室同門会）総会・講演会が、18時より懇親会が行われた。



挨拶をされる榎本洋史精到会会長



特別講演をされる川本 強副会長

精到会総会は、柴原孝彦教授（口腔顎顔面外科学講座）の開会の挨拶で始まり、榎本洋史会長の挨拶に続いた。そのなかで、野間弘康名誉教授の瑞宝中綬章受章の記念式典、高野伸夫教授の退任および口腔がんセンター顧問就任についてご報告いただいた。また11名の逝去会員への黙祷が行われた。なかでも故 中久喜 喬名誉教授（歯科麻酔学講座）、故 森内護先生は一時期休会していた精到会の再開（昭和63年）にご尽力いただき、幹事その後監事をお勤めいただいたことが紹介された。続いて、佐々木研一臨床教授より平成28年7月31日に水道橋校舎新館で開催した第18回日本口腔顎顔面外傷学会総会・学術大会開催について、柴原孝彦教授より平成30年11月2～4日に主管する第63回日

本口腔外科学会総会・学術大会の進捗状況についての報告がなされた。また、水道橋病院、千葉病院、市川総合病院の医局長より各病院の口腔外科の現状が報告された。千葉病院の周辺環境の変化や、市川総合病院のスキルラボの紹介があった。大学本部移転後も水道橋病院、千葉病院ともに初診患者数、手術件数が増加しているとのことであった。

総会の後に行われた講演会では、一般社団法人日本学校歯科医学会会長に就任された川本 強先生から「日学歯の来し方行く末『過去・現在・未来』」と題し、日本学校歯科医学会の成り立ち、現在の活動内容、日学歯の未来についてご講演いただいた。

講演会の後、一般会員、現役会

員合計112名で盛大に懇親会が開催された。精到会会長の榎本洋史先生ならびに野間弘康名誉教授のご挨拶に続いて、高北義彦客員教授（歯科麻酔学講座）による乾杯のご発声のもと、懇親へと移行して水道橋病院、千葉病院の思い出が多く語られた。片倉 朗教授（口腔病態外科学講座）による中締め挨拶ののち、多くの参加者は親睦をさらに深める時間を共有した。

90年以上続く口腔外科学教室の伝統を継承すべく、精到会の名称の由来でもある血脇先生の「深研精到」の教えを心に刻み、2023年に100周年を迎える教室の発展に尽力したいと再確認した会であった。

（口腔外科学教室 精到会）



## モンゴル紀行－衆議院日本・モンゴル友好議員連盟に同行して

高市真之（平成16年卒）

日本人の多くが「モンゴル」という地名を聞けば、「緑の大草原」、「遊牧の民」を思い起こすのではないだろうか。近年、大相撲では多くのモンゴル出身力士が活躍しており、様々な分野で交流が盛んになっている。2016年6月7日、日本・モンゴル経済連携協定（EPA）が発効され、両国の経済協力が一層強まってきた。そこで、私は、2017年9月6日～9日、林幹雄衆議院議員が会長を務める衆議院日本・モンゴル友好議員連盟に参加する機会を得て、モンゴルを訪問した。

### 草原に生きる

長年、モンゴルの人々は、厳しい自然環境の中で、季節ごとに家畜と移動する遊牧生活を続けてきた。彼らはゲルと呼ばれる移動式住居に住んでいる。ゲルは木と



ゲル（モンゴル民族の移動式住居）に宿泊

フェルトででき、分解、組み立てが簡単で、草原に暮らす遊牧民には最適な住居である。遊牧民は縦横無尽に好きなように草原を移動しているイメージがあるが、実はそうではない。遊牧の行動範囲は大まかに決まっており、家畜にとって最良の牧草を食べさせるために移動し、食べ尽くさないようにまた移動する。自然と共存する知恵を受け継ぎ、次世代へ伝えている。しかし、近年、若者たちは都市部で働き、老年の夫婦だけが遊牧を続けている。実際、モンゴルの全人口約300万人の内、約半数の130万人以上がウランバートルに集中している。

### 祖国の英雄・チンギス・ハーン

チンギス・ハーンに関する詳述は歴史書に譲るとして、モンゴル国内の要所には、必ずと言っていいほど、チンギス・ハーンに関する絵画や像が展示してあった。1990年の民主化以降、民族の誇り



高さ40mの巨大なチンギス・ハーンの騎馬像

チンギス・ハーンは、モンゴル人のアイデンティティを取り戻すために必要な存在であったようだ。

### 現在のモンゴル

モンゴルの主な産業は鉱物資源であり、2013年まで高い経済成長を続けたが、世界的な資源安によりモンゴル経済は低迷し、2017年に国際通貨基金（IMF）の対モンゴル支援を受け入れた。1990年以降、民主化が進み、急速な経済成長は貧富の差を生み、現在も混乱の中にあった。昼間の交通渋滞はこの国の常となり、富裕層も確実に増えている。それとは対照的に、ふと思い返す情景は草原で出会った遊牧民の素朴な笑顔と、どこまでも広がる草原であった。より多くの人がこの国の魅力に触れ、新たな発見と喜びを感じ、両国の懸け橋となることを望んでやまない。



林幹雄衆議院議員と在モンゴル日本国大使館大使公邸にて

写真が同窓会ホームページ<<http://www.tdc-alumni.jp>>に掲載されています。

## 関東女性歯科医師の会

茨城県女性歯科医会 長 岡 未佐子（平成元年卒）

平成29年度関東女性歯科医師の会が、平成29年9月18日（祝）茨城県「水戸プラザホテル」にて開催されました。前日まで大型台風の接近に伴う影響を心配しておりましたが、当日は晴天に恵まれ無事に開催する事が出来ました。

この会は、関東1都7県に山梨県を加え輪番制で開催されています。本年度は茨城県が当番県となり、106名の参加の基、全体会・講演会・懇親会の3部構成で行われました。

全体会では、前年度当番県の千葉県からの会計報告、各都県の活動報告等がなされた後、協議に移りました。会の在り方や会計報告の在り方、全国で活動している「女性歯科医師の会」の調査について活発な意見が交わされました。その後、神奈川県より「男女共同参画についての会員アンケート調査結果」、茨城県より「女性歯科医師の学会参加への環境整備としての託児所開設」についてのプレゼンテーションがありました。全体会を通し、女性歯科医師が増加するこれから、若い世代が活躍できるよう、そして継続就業に向けて環境整備が必要な事は一致した見解でした。

次に狂言和泉流二十世宗家・和泉元彌様に「技が伝えるもの～伝統芸能・狂言の世界～」と題し、実演を交えてのご講演を頂きました。狂言の歴史や基礎について、また演者にとっては発声が重要であり、口元・歯は観客席に向

けられるため口腔管理は非常に大切であると、我々歯科医師にとってもありがたいお話でした。その後、和泉流8名の方々による舞台を觀賞させて頂き、別世界へと誘わせて頂きました。最後にお母様の和泉節子様より、女性の力で和泉流を継続させる事のご苦労、お姉さまの淳子様より芸の前に性別は無いと育てられたとのお言葉がありました。これは、女性歯科医師にも通ずる事であると思えます。

そして懇親会へと移り、各都県の先生方や同窓の先生方との交流や親睦を深める事が出来た事は大変有意義であったと思えます。

御存知かと思いますが、本年度も茨城県は魅力の無い県ワーストワンに輝きました。それを少しでも解消したいと、ゆるキャラの「ハッスル黄門」の出演や県のピーアールビデオの上映を行いました。また、本校口腔外科学講座に在籍しておられた、塙 章一先生が携わっている、茨城県の陶芸



品「笠間焼」で作成された、ひとにやさしいつわを展開する「ひとらぼ」の食器や特産品の結城紬の展示などもさせて頂きました。次年度はワーストワンの記録を他県にお譲りするきっかけになりましたら幸いです。

今回、来賓としてご出席を頂きました茨城県歯科医師連盟会長の高野一夫先生を初め、16名の本学ご出身の先生方にご参加を頂き、各都県でのご活躍の様子を拝見し大変刺激を受けた一日でありました。次年度当番県をお引き受け頂きました埼玉県へバトンをお渡し、参加報告と致します。



# 庶務日誌

- 11月
- 1) 理事会
- 11月18日(土) 第5回理事会
- 2) 委員会
- 11月6日(月) 会務運営協議会
- 10日(金) 広報部広報委員会
- 13日(月) 事業推進部学術委員会 企画会議
- 3) 出張
- 11月3日(金・祝)
- 東京歯科大学歯科衛生士専門学校同窓会卒後研修 東京歯科大学短期大学開学記念フォーラム  
矢崎会長, 他役員出席
- 5日(日) 東京都女性歯科医師の会 平成29年度秋の講演会・懇親会  
高野常任理事出席
- 11日(土) 秋田県支部総会 早速副会長出席  
学術講演会 講師・佐藤一道准教授(母校)
- 12日(日) 埼玉県支部総会 高橋常任理事出席
- 13日(月) 東京地域支部連合会支部長会  
白井専務理事出席
- 18日(土) 東京地域支部連合会・城西ブロック総会 矢崎会長出席
- 18日(土) 朝日大学歯学部同窓会創立40周年記念式典・祝賀会 澁谷副会長出席
- 23日(木・祝)
- 静岡県支部総会 小池常任理事出席  
学術講演会 講師・櫻井 薫教授(母校)
- 25日(土) 長崎県支部総会 福本常任理事出席
- 26日(日) TDCアカデミア2017 卒後研修  
3研修会全体会
- 4) 事業
- 11月5日(日) 第5回新進会員のつどい
- 8日(水) TDCアカデミア2017 卒後研修  
TDC研修倶楽部
- 12日(日) TDCアカデミア2017 医療教養  
Part1 リベラルアーツ講座  
Part2 フロントランナーセミナー  
Part3 医療教養セミナー
- 15日(水) TDCアカデミア2017 卒後研修  
DSM
- 29日(水) 事業推進部社会保障制度研究委員会  
社会保障制度に関する講演会
- 30日(木) TDCアカデミア2017 卒後研修  
歯科臨床を語る会
- 5) 評議員会
- 11月19日(日) 平成29年度評議員会・都道府県代表者会
- 12月
- 1) 理事会
- 12月16日(土) 第6回理事会
- 2) 委員会
- 12月4日(月) 渉外部渉外委員会
- 5日(火) 総務・厚生部総務厚生委員会
- 8日(金) 総務・厚生部ゴルフ大会委員会
- 9日(土) 事業推進部学術委員会全体委員会
- 11日(月) 会務運営協議会
- 12日(火) 総務・厚生部新進会員のつどい実行委員会
- 13日(水) 広報部広報委員会
- 13日(水) 事業推進部学術委員会委員発表会
- 15日(金) 総務・厚生部女性会員活動推進委員会
- 18日(月) 事業推進部社会保障制度研究委員会
- 3) 出張
- 12月2日(土) 東京地域支部連合会総会  
矢崎会長, 山口理事出席

- |   |  |
|---|--|
| 2日(土) 熊本県支部総会 澁谷副会長出席<br>学術講演会 講師・矢島安朝教授<br>(母校)      | 10日(日) 茨城県支部総会 富山副会長出席                   |
| 2日(土) 愛媛県支部総会<br>佐々木常任理事出席<br>学術講演会 講師・福田謙一教授<br>(母校) | 16日(土) 南信支部総会<br>学術講演会 講師・笠原正貴教授<br>(母校) |
| 3日(日) 栃木県支部総会 財部副会長出席                                 | 16日(土) 横須賀・鎌倉支部総会                        |
| 3日(日) 千葉県支部総会 早速副会長出席                                 | 19日(火) 大学支部総会 矢崎会長出席                     |
| 3日(日) 神奈川県支部連合同窓会評議員会<br>矢崎会長出席                       | 4) 事業                                    |
| 3日(日) 愛知県支部総会 高橋常任理事出席                                | 12月20日(水) TDCアカデミア2017 卒後研修<br>DSM       |
| 9日(土) 山梨県支部総会 中島常任理事出席<br>学術講演会 講師・古澤成博教授<br>(母校)     | 21日(木) TDCアカデミア2017 卒後研修<br>歯科臨床を語る会     |

追悼

～時の過行くままに～

志学会(昭和42年卒)



7月7日夜、荒木 覚君逝去の知らせは、そのフレーズが現実離れしていて、無機質で、身体がそれを受け入れるのに時間がかかりました。

「星がまばたく音があるんだよ、聴きにおいでよ」との誘いで、彼の家を友人6人で訪ねる日を楽しみにしていた矢先の一報でした。彼とは同級生でしたが、卒業後11名で研究会(善志我会)を組んでからの方が付き合いは深く、か

れこれ50年にもなります。歯科医師としての才器を發揮し、習志野で悠々と人生を送る道もあったのですが、それを平然と捨て、八ヶ岳の森林で薪を割り、冬の暖房の補助とする生活を、奥様と二人で送る道を選んで20年になります。高級車モーガンを愛し、倶楽部の会長を長年務めていました。いずれも一度の人生に、深い意味を持たせました。森の中で、「それがどうした」の境地に達し、哲学者と凡人の間を行き来していましたが、哲学者になるのは向こうでと思ったよう

で、仲間のままで逝ったそうでそこは、ホッとしました。2週間後、約束通り6人で八ヶ岳を訪れ、彼の愛したホテルのBarで、しばしの時を過ごしました。友垣の一角がまた崩れ、Barに流れる As the time goes by を皆無口で聴きました。彼が「待った?遅れてごめん」と言ってBarに入って来るような気がし、それでも良いからこの場に来てくれたらと思い、酔わないウイスキーを重ねました。  
(昭和42年卒・黒田百樹 記)

## 逝去会員

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略・届出順)

●昭 18.9 卒	田 中 堅 一 (95歳)	大分県宇佐市	29. 9. 19
●昭 44 卒	猪 狩 忠 久 (73歳)	埼玉県さいたま市	29. 9. 14
●昭 34 卒	小 山 秀 雄 (91歳)	長野県下高井郡	29. 9. 23
●平 10 卒	酒 寄 千 恵 (45歳)	茨城県つくば市	29. 9. 15
●昭 36 卒	岩 田 嵩 (82歳)	東京都杉並区	29. 8. 27
●昭 25 卒	宮 内 鴻 纓 (91歳)	東京都中野区	29. 9. 30
●昭 62 卒	伊 東 博 敬 (56歳)	神奈川県横須賀市	29. 10. 11
●昭 36 卒	皆 川 修 慶 (82歳)	神奈川県横浜市	29. 10. 12
●昭 29 卒	川 辺 龍 彦 (88歳)	東京都港区	29. 6. 10
●昭 40 卒	榎 本 浩 (78歳)	神奈川県厚木市	29. 6. 14
●昭 54 卒	相 原 健 (64歳)	福島県福島市	29. 10. 18
●昭 24 卒	神 山 五 郎 (91歳)		29. 6. 16
●昭 47 卒	鈴 木 孝 義 (69歳)	千葉県市川市	29. 10. 9
●昭 40 卒	梶 井 文 忠 (78歳)	山口県厚狭郡	29. 10. 27
●昭 26 卒	飯 田 外茂男 (92歳)	東京都大田区	29. 10. 18
●昭 33 卒	北 原 上 子 (83歳)	東京都新宿区	29. 10. 24
●昭 23 卒	菊 池 俊 夫 (91歳)	栃木県宇都宮市	29. 10. 29
●昭 57 卒	難 波 哲 夫 (61歳)	東京都世田谷区	29. 10. 31
●昭 19.9 卒	津 戸 英 守 (93歳)	東京都立川市	29. 9. 18
●昭 35 卒	平 田 志 郎 (82歳)	鳥取県米子市	29. 11. 3
●昭 49 卒	小 滝 正 人 (68歳)	栃木県那須塩原市	29. 11. 15
●昭 60 卒	木 下 浩 子 (57歳)	東京都杉並区	29. 8. 9
●昭 38 卒	岩 田 利 光 (80歳)	香川県丸亀市	29. 11. 17
●昭 31 卒	羽毛田 湊 人 (85歳)	長野県南佐久郡	29. 11. 18
●昭 40 卒	馬 場 義 夫 (79歳)	長野県上田市	29. 11. 15
●昭 18.9 卒	中 村 義 信 (94歳)	鳥取県倉吉市	29. 11. 17
●昭 26 卒	平 川 幸 矢 (90歳)	兵庫県西宮市	29. 11. 21
●昭 22 卒	山 本 一 成 (92歳)	東京都千代田区	29. 11. 16
●昭 25 卒	澤 田 稔 (88歳)	熊本県八代市	29. 11. 26
●昭 51 卒	澤 野 恵 司 (66歳)	北海道札幌市	29. 11. 27
●昭 34 卒	海 洲 馨 一 (83歳)	福島県郡山市	29. 11. 28
●昭 25 卒	田 代 教 平 (90歳)	静岡県袋井市	29. 11. 30

## ◆投稿規定

※平成26年度より、偶数月発行から年間4回（2，6，10，12月）の発行になりました。

- (1) 原稿締め切り  
原稿の締め切りは、発行前月の10日までとし、原則として締め切り翌月発行の会報に掲載いたします。
- (2) 投稿様式  
投稿は原稿用紙に横書きとし、便箋などの使用はご遠慮下さい。ワープロ等電子機器使用の場合は1行15字で設定して下さい。写真はピントのあったものを、大きいサイズ（2Lなど）で集合写真のみでなく、スナップなども添えて下さい。
- (3) ご投稿いただいた原稿は原則として原文のまま掲載いたします。ただし、紙面の都合により加筆削除等お願いすることがありますので、ご了承下さい。なお、掲載については委員会にご一任いただきます。
- (4) 写真等の返却  
写真等は、原則として返却いたしません。特に貴重な写真の場合は、その旨書き添えて下されば返却いたします。写真は同窓会ホームページにも掲載されることがあります。
- (5) 投稿字数

投稿欄	内容	文字数, 備考
追悼	故人の追悼文	600字程度でお願いしています。
すいどうばし いなげ	随想, 詩, 短歌, 時評など	1編1,700字程度（1ページ）。投稿者本人にしか解らない思い入れや、取り止めのない随筆はご遠慮いただき、出来るだけ大学や同窓会に縁（ゆかり）あるものが望ましい。
支部のうごき クラス会だより		1ページ1,700字程度（1ページ以内でお願いします） 写真が入る場合下記を参考に文字数を減らしてください。 全員の集合写真は720字に相当、会場風景や大勢のスナップ写真は360字相当、数人のスナップ写真は120字相当で掲載します。 尚、同窓会ホームページよりひな型をダウンロードできますのでご利用下さい。

電子メールでの投稿は同窓会ホームページ

<http://tdc-alumni.jp/organization/dousoukai/kouhoubu/> をご覧下さい。

## 投稿送付書

郵送で投稿の方は下記送付書に内容を記載し、同封をお願いします。

お名前（漢字）		フリガナ	所属支部	支部
卒業年数（どれか1つ）	（昭和・平成・西暦） _____ 年卒 / _____ 期卒			
住所（自宅・勤務先）	〒 _____			
電話番号（自宅・連絡先）	-	-	FAX 番号	-
投稿先 <input type="checkbox"/> に <input checked="" type="checkbox"/> 印チェック	同窓会会報	<input type="checkbox"/> カラーグラビア	<input type="checkbox"/> 追悼	<input type="checkbox"/> 支部のうごき <input type="checkbox"/> ふるさと自慢 <input type="checkbox"/> すいどうばし <input type="checkbox"/> いなげ <input type="checkbox"/> クラス会だより <input type="checkbox"/> OB, グループ・サークル
貼付写真枚数	枚			
その他ご希望	（例 写真の順番・重要度など）			

- ◆へんしゅうこうき
- ★2020年の東京オリンピック・パラリンピックまで1000日をきりました。  
オリンピックは7月24日に開会式、8月9日に閉会式、パラリンピックは8月25日に開会式、9月6日に閉会式と発表されています。  
新たに完成した競技場の公開があったりと準備は進んでいるようです。
  - ★今回のオリンピックではスポーツライミング、サーフィン、スケートボード、空手が新たに加わり野球・ソフトボールが復活します。  
時代とともに競技種目の変更がありますが、これら新種目は面白そうです。
  - ★このところ異常気象が多いように感じます。特に今年の夏は雨の日が多く、東京では8月1日から21日間連続で降雨があって、これは1977年に次ぐ歴代2位の記録でした。  
オリンピックの会期中は猛暑も困りますが長雨にならないといいのですが。
  - ★天皇陛下の退位日が2019年4月30日に決定しました。  
5月1日に皇太子さまが即位し新元号になりますが、新元号は2018年中に発表されるそうです。  
どんな元号になるか楽しみです。
  - ★東京オリンピック・パラリンピックは新元号で新しい天皇陛下の元、開催されますが大いに盛り上がることを期待しています。
  - ★同窓会も時代の変化に対応して、新元号の元、さらなる発展があるように願っています。  
(皆川雅彦 記)

広報部広報委員会

委員長：昭和53年卒 白田 準  
副委員長：昭和61年卒 福井 雅之  
：平成4年卒 西村 哲雄  
：平成7年卒 山口 雅史  
委員：昭和60年卒 奥野 圭子  
：昭和60年卒 佐々木葉子  
：昭和60年卒 皆川 雅彦  
：昭和63年卒 渡邊 宇一  
：平成3年卒 島田 篤  
：平成4年卒 本間 敬和

委員：平成9年卒 末原 正崇  
：平成10年卒 横田 東生  
：平成16年卒 菅原 圭亮  
協力委員：昭和58年卒 古澤 成博  
：昭和62年卒 北村 晃  
：昭和63年卒 岩田 昌久  
：平成1年卒 長岡未佐子  
：平成11年卒 片山 明彦  
広報部担当副会長：昭和57年卒 富山 雅史  
担当理事：昭和56年卒 小池 修  
：昭和61年卒 岡村美恵子

平成29年12月20日 印刷  
平成29年12月25日 発行  
東京歯科大学同窓会会報 第410号  
同窓会ホームページアドレス  
<http://www.tdc-alumni.jp>

発行人 小 池 修  
編集人 白 田 準  
東京歯科大学同窓会  
〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-9-18  
電話 (03) 5275-1761  
F A X (03) 3264-4859  
印刷所 一世印刷株式会社  
〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22  
電話 (03) 3952-5651 (代)

# 平成29年度 評議員会

(報告)

平成29年11月19日(日)  
於 東京歯科大学水道橋校舎  
本館13階 第1講義室

平成29年度東京歯科大学同窓会評議員会  
(午後1時00分~午後5時30分)

- |  |            |   |
|--|------------|---|
| 1. 開 会 の 辞   | 第7号議案      | 平成28年度 卒後研修セミナー、<br>卒後研修セミナー積立金収支決算                             |
| 1. 叙勲、褒章受章者顕彰式   | 第8号議案      | 平成28年度 時局対策費積立金会<br>計収支決算                                       |
| 1. 点 呼   | 第9号議案      | 平成28年度 財 産 目 録<br>(監 査 報 告)                                     |
| 1. 会 長 挨 拶   | 第10号議案     | 平成30年度 事 業 計 画  |
| 1. 来 賓 挨 拶   | 第11号議案     | 平成30年度 入会金および会費等  |
| 1. 議長、副議長選出  | 第12号議案     | 平成30年度 経常部収支予算  |
| 1. 議事録署名人  | 第13号議案     | 平成30年度 特別会計収支予算<br>(高山・血協記念同窓会基金、共<br>済基金、慶弔基金、名簿積立金、<br>退職積立金) |
| 1. 黙 禱   | 第14号議案     | 平成30年度 卒後研修セミナー、<br>卒後研修セミナー積立金会計収支<br>予算                       |
| 1. 東京歯科大学の現況報告   | 第15号議案     | 平成30年度 時局対策費積立金会<br>計収支予算                                       |
| 1. 報 告   | 第16号議案     | 北支部・滝野川支部の合併  |
| (1) 平成29年度 会 務 報 告   | 第17号議案     | 役 員 改 選   |
| (2) 平成29年度 会 計 現 況 報 告   | 第18号議案     | 選挙管理委員・予備選挙管理委員<br>の選出  |
| 1. 議 事   |            |   |
| 第1号議案 名誉会員の推薦  |            |   |
| 第2号議案 東京歯科大学同窓会会則の第2条<br>および第10条の一部改正  |            |   |
| 第3号議案 東京歯科大学同窓会共済規程の廃<br>止および東京歯科大学同窓会慶弔<br>基金規程の制定                                    |            |   |
| 第4号議案 第3号議案の可決に伴う東京歯科<br>大学同窓会会則の一部改正  |            |   |
| 第5号議案 平成28年度 経常部収支決算   |            |   |
| 第6号議案 平成28年度 特別会計収支決算<br>(高山・血協記念同窓会基金、共<br>済基金、名簿積立金、退職積立<br>金、同窓会創立120周年記念事業<br>積立金) |            |   |
|  | 1. 協 議     |   |
|  | 1. 名誉会員推戴式 |   |
|  | 1. 閉 会 の 辞 |   |

平成29年度東京歯科大学同窓会会務報告

(自 平成28年9月1日)  
(至 平成29年8月31日)

1. 現在会員数	9,135名	3日(土)	長野県連合総会・支部長会
内			澁谷副会長出席
名誉会員	31名		学術講演会 講師・笠原正貴教授
共済負担金免除会員	853名		(母校)
高齢会員	418名	4日(日)	関東地域支部連合会総会・支部長会
新進会員	611名		早速副会長, 白井専務理事,
(支部加入255名, 支部未加入356名)			大野理事出席
不明会員	1,163名		学術講演会 講師・松浦利隆氏(群馬
2. 会員の移動			県立女子大学群馬学センター教授)
新入会員	123名	4日(日)	東海地域支部連合会総会・支部長会
(本年度卒業生 115名)			矢崎会長, 高橋・国島各理事出席
(他 8名)			学術講演会 講師・落合偉洲氏(久
逝去会員	124名		能山東照宮 官司)
退会会員	3名	5日(月)	東京地域支部連合会東歯保険関係懇
(いわゆる推薦会員)			談会 矢崎会長出席
3. 会 議		5日(月)	総務・厚生部女性会員活動推進委員
評議員会	1回		会
都道府県代表者会	1回	5日(月)	事業推進部学術委員会 運営委員会
学年代表者会	1回		(医療教養打合せ)
新進会員のつどい	1回	6日(火)	二校会主催若手研修セミナー打合せ
東歯関係日歯役員・代議員と	2回		会
同窓会役員懇談会		9日(金)	広報部広報委員会
理事会	6回	10日(土)	北海道地域支部連合会総会・支部長会
常任理事会	5回		富山副会長, 白井専務理事,
監査会	1回		戸田理事出席
各種委員会	94回		学術講演会 講師・野村武史教授
その他の会議	21回		(母校)
4. 役員出張	73回(106名)	10日(土)・11日(日)	TDC アカデミア2016
5. 支部数	108支部		臨床セミナー 補綴セミナー
6. 地域支部連合会数	11地域支部連合会	11日(日)	明海大学歯学部同窓会創立40周年記
北海道地域, 東北地域, 関東地域, 東京地域,			念式典・祝賀会 矢崎会長出席
信越地域, 東海地域, 北陸地域, 近畿地域,		12日(月)	会務運営協議会
中国地域, 四国地域, 九州地域		14日(水)	TDC アカデミア2016 卒後研修
7. 会務報告			TDC 研修倶楽部
平成28年		15日(木)	TDC アカデミア2016 医療教養
9月1日(木)	事業推進部学術委員会 運営委員会		フロントランナーセミナー 第2回
	(補綴セミナー打合せ)	17日(土)	第4回理事会
2日(金)	事業推進部学術委員会 運営委員会	21日(水)	TDC アカデミア2016 卒後研修
	(補綴セミナー打合せ)		DSM
2日(金)	会計連絡会(次年度予算協議会)		

- 22日(木・祝) 同窓会主催全国ゴルフ大会(武蔵丘ゴルフコース)
- 27日(火) ソーシャルメディアを用いたセミナー集客 勉強会
- 29日(木) TDC アカデミア2016 卒後研修 歯科臨床を語る会
- 10月 2日(日) 二校会主催若手支援セミナー
- 3日(月) 会務運営協議会
- 4日(火) 事業推進部学術委員会 2017年プログラム委員会(卒後研修打合せ)
- 8日(土) 宮崎県支部学術講演会 講師・二階堂雅彦氏(東京都開業)
- 8日(土) 北陸地域支部連合会支部長会  
佐々木・野田各理事出席
- 12日(水) TDC アカデミア2016 卒後研修 TDC 研修倶楽部
- 13日(木) 事業推進部社会保障制度研究委員会
- 14日(金) 広報部広報委員会
- 15日(土) 第5回理事会
- 18日(火) 総務・厚生部新進会員のつどい実行委員会
- 19日(水) TDC アカデミア2016 卒後研修 DSM
- 19日(水) 渉外部渉外委員会
- 22日(土) 九州地域支部連合会総会・支部長会  
矢崎会長, 高橋・田部各理事出席
- 22日(土) 日本歯科大学創立110周年全国校友大会記念式典・記念講演・祝賀会  
澁谷副会長出席
- 23日(日) 東北地域支部連合会支部長会  
富山副会長, 田島理事出席
- 25日(火) 事業推進部学術委員会 企画会議
- 27日(木) TDC アカデミア2016 卒後研修 歯科臨床を語る会
- 30日(日) 中国地域支部連合会支部長会  
矢崎会長, 野間理事出席
- 30日(日) 第48回歯学体成績報告会・東歯祭 フェスティバル2016後夜祭  
中島理事出席
- 31日(月) 東京地域支部連合会支部長会  
矢崎会長, 山口理事出席
- 11月 1日(火) 事業推進部学術委員会 2017年プログラム委員会(卒後研修打合せ)
- 2日(水) 総務・厚生部女性会員活動推進委員会
- 3日(木・祝) 第4回新進会員のつどい
- 6日(日) 東京都女性歯科医師の会 平成28年度 秋の学術講演会・懇親会  
矢崎会長出席
- 9日(水) TDC アカデミア2016 卒後研修 TDC 研修倶楽部
- 11日(金) 広報部広報委員会
- 11日(金) 東京地域支部連合会中央ブロック協議会  
矢崎会長出席
- 12日(土) 徳島大学歯学部創立40周年および同窓会創立25周年記念式典・祝賀会  
矢崎会長出席
- 12日(土) 秋田県支部総会 中島理事出席  
学術講演会 講師・福田謙一教授(母校)
- 13日(日) 埼玉県支部総会 澁谷副会長出席
- 14日(月) 会務運営協議会
- 16日(水) TDC アカデミア2016 卒後研修 DSM
- 17日(木) 東京地域支部連合会保険講習会  
矢崎会長出席
- 19日(土) 第6回理事会
- 20日(日) 平成28年度都道府県代表者会, 平成28年度評議員会
- 21日(月) 渉外部渉外委員会
- 23日(水・祝) 近畿地域支部連合会総会・支部長会  
矢崎会長, 福本・稲野各理事出席
- 24日(木) TDC アカデミア2016 卒後研修 歯科臨床を語る会
- 25日(金) 事業推進部社会保障制度研究委員会
- 26日(土) 東京地域支部連合会城西ブロック総会  
矢崎会長出席
- 27日(日) TDC アカデミア2016 医療教養 口腔保健オープン・フォーラム
- 27日(日) 静岡県支部総会 財部副会長出席
- 28日(月) 会務運営協議会
- 12月 2日(金) 総務・厚生部女性会員活動推進委員会
- 3日(土) 川崎支部総会(役員出張なし)
- 3日(土) 東京地域支部連合会総会  
財部副会長, 山口理事出席
- 3日(土) 愛媛県支部総会 高橋理事出席  
学術講演会 講師・古澤成博教授(母校)

- 3日(土) 熊本県支部総会 矢崎会長出席  
学術講演会 講師・奥田克爾名誉教授  
(母校)
- 4日(日) 茨城県支部総会 財部副会長出席  
学術講演会 講師・茂木悦子客員教授  
(母校)
- 4日(日) 栃木県支部総会 澁谷副会長出席
- 4日(日) 千葉県支部総会 臼井専務理事出席
- 4日(日) 神奈川県支部連合同窓会評議員会  
富山副会長出席
- 4日(日) 愛知県支部総会 早速副会長出席
- 7日(水) 第5回常任理事会
- 8日(木) 二校会主催若手支援セミナー打合せ会
- 10日(土) 横須賀鎌倉支部総会  
財部副会長出席
- 10日(土) 山梨県支部総会 佐々木理事出席  
学術講演会 講師・古澤成博教授  
(母校)
- 10日(土) 事業推進部学術委員会 全体委員会
- 13日(火) 事業推進部学術委員会 2017年プログラム委員会(卒後研修打合せ)
- 14日(水) 総務・厚生部総務厚生委員会
- 14日(水) TDC アカデミア2016 卒後研修  
TDC 研修倶楽部
- 15日(木) 広報部広報委員会
- 15日(木) 事業推進部社会保障制度研究委員会
- 16日(金) 事業推進部学術委員会 2017年プログラム委員会(エンドセミナー打合せ)
- 19日(月) 総務・厚生部ゴルフ大会委員会
- 20日(火) 大学支部総会 矢崎会長出席
- 20日(火) 事業推進部学術委員会 企画会議
- 21日(水) TDC アカデミア2016 卒後研修  
DSM
- 22日(木) TDC アカデミア2016 卒後研修  
歯科臨床を語る会
- 17日(火) 渉外部渉外委員会
- 17日(火) 事業推進部学術委員会 運営委員会  
(ベーシックセミナー打合せ)
- 18日(水) TDC アカデミア2017 卒後研修  
DSM
- 19日(木) 総務・厚生部総務厚生委員会
- 20日(金) 芝支部総会 矢崎会長出席
- 21日(土) 渉外部渉外委員会(小委員会)
- 22日(日) 東京医科歯科大学歯科同窓会新年名刺交換会  
矢崎会長, 臼井専務理事出席
- 23日(月) 総務・厚生部新進会員のつどい実行委員会
- 23日(月) 事業推進部学術委員会 運営委員会  
(エンドセミナー打合せ)
- 25日(水) 第1回常任理事会
- 26日(木) TDC アカデミア2017 卒後研修  
歯科臨床を語る会
- 27日(金) 浅草・下谷支部合同新年会  
矢崎会長出席
- 28日(土) 富山県支部学術講演会 講師・高野伸夫教授(母校)
- 30日(月) 総務・厚生部女性会員活動推進委員会
- 31日(火) 事業推進部学術委員会 企画会議
- 2月5日(日) 日本大学松戸歯学部同窓会創立40周年式典・記念講演・祝賀会  
矢崎会長出席
- 7日(火) 事業推進部学術委員会 運営委員会  
(ベーシックセミナー打合せ)
- 8日(水) TDC アカデミア2017 卒後研修  
TDC 研修倶楽部
- 10日(金) 広報部広報委員会
- 11日(土・祝) 岡山県支部総会学術講演会 講師・佐藤一道准教授(母校)
- 11日(土・祝) 埼玉県支部新年会  
財部副会長出席
- 14日(火) 渉外部渉外委員会
- 15日(水) TDC アカデミア2017 卒後研修  
DSM
- 17日(金) 事業推進部社会保障制度研究委員会
- 18日(土) 北多摩支部総会, 90周年記念式典・祝賀会  
矢崎会長出席
- 20日(月) 会務運営協議会
- 22日(水) 事業推進部学術委員会 運営委員会  
(エンドセミナー打合せ)
- 平成29年
- 1月10日(火) 千代田支部新年会 矢崎会長出席
- 11日(水) TDC アカデミア2017 卒後研修  
TDC 研修倶楽部
- 12日(木) 広報部広報委員会
- 13日(金) 会務運営協議会
- 14日(土) 東京地域支部連合会新年交歓会  
矢崎会長, 他役員出席
- 16日(月) 会務運営協議会

- 23日(木) TDC アカデミア2017 卒後研修  
歯科臨床を語る会
- 25日(土) 第1回理事会
- 26日(日) 三重県支部総会 矢崎会長出席
- 27日(月) 事業推進部学術委員会 運営委員会  
(ペリオセミナー打合せ)
- 28日(火) 事業推進部学術委員会 運営委員会  
(ベーシックセミナー打合せ)
- 3月4日(土) 青森県支部総会 早速副会長出席
- 5日(日) 関東地域支部連合会支部長会  
財部副会長, 大野理事出席
- 5日(日) 滋賀県支部学術講演会 講師・橋本  
正次教授(母校)
- 6日(月) 事業推進部学術委員会 企画会議
- 8日(水) TDC アカデミア2017 卒後研修  
TDC 研修倶楽部
- 9日(木) 東歯関係日歯役員・代議員と同窓会  
役員との懇談会
- 10日(金) 歯科衛生士専門学校卒業証書授与式  
矢崎会長出席
- 13日(月) 広報部広報委員会
- 13日(月) 総務・厚生部女性会員活動推進委員会
- 14日(火) 新入会員オリエンテーション
- 14日(火) 二校会主催若手支援セミナー打合せ会
- 15日(水) 東京歯科大学第122回卒業証書授与式  
矢崎会長出席
- 15日(水) 東京歯科大学大学院修了式・懇親会  
矢崎会長出席
- 15日(水) 第122期卒業生主催謝恩会  
矢崎会長出席
- 15日(水) TDC アカデミア2017 卒後研修  
DSM
- 16日(木) 市川総合病院臨床研修歯科医修了者  
へのオリエンテーション
- 16日(木) 事業推進部学術委員会 運営委員会  
(エンドセミナー打合せ)
- 17日(金) 水道橋病院臨床研修歯科医修了者へ  
のオリエンテーション
- 21日(火) 千葉病院臨床研修歯科医修了者への  
オリエンテーション
- 22日(水) 会務運営協議会
- 23日(木) TDC アカデミア2017 卒後研修  
歯科臨床を語る会
- 24日(金) 事業推進部学術委員会 運営委員会  
(MTM セミナー打合せ)
- 26日(日) 東京歯科大学短期大学開学記念式  
典・記念祝賀会 矢崎会長出席
- 26日(日) 日本大学歯学部同窓会第4回桜会  
高野理事出席
- 28日(火) 総務・厚生部総務厚生委員会
- 28日(火) 事業推進部学術委員会 運営委員会  
(ベーシックセミナー最終予演会)
- 29日(水) 第2回常任理事会
- 4月1日(土) 山形県支部総会 財部副会長出席  
学術講演会 講師・松坂賢一教授  
(母校)
- 3日(月) 東京歯科大学大学院入学式  
矢崎会長出席
- 3日(月) 大学院入学者へのオリエンテーション
- 3日(月) 渉外部渉外委員会
- 3日(月) 事業推進部学術委員会 運営委員会  
(エンドセミナー打合せ)
- 4日(火) 東京歯科大学短期大学歯科衛生学科  
入学式 矢崎会長出席
- 5日(水) 東京歯科大学入学式 矢崎会長出席
- 5日(水) 総務・厚生部新進会員のつどい実行  
委員会
- 6日(木) 事業推進部学術委員会 企画会議
- 7日(金) 井出吉信学長, 石井拓男短大学長と  
の座談会
- 10日(月) 会務運営協議会
- 11日(火) 事業推進部学術委員会 運営委員会  
(ベーシックセミナーチューター  
ミーティング)
- 12日(水) TDC アカデミア2017 卒後研修  
TDC 研修倶楽部
- 14日(金) 広報部広報委員会
- 14日(金) 総務・厚生部女性会員活動推進委員  
会
- 15日(土) 第2回理事会
- 17日(月) 事業推進部社会保障制度研究委員会
- 19日(水) 第110回歯科医師国家試験反省会並  
びに担当者慰労会  
矢崎会長, 澁谷・早速・財部・  
富山各副会長, 臼井専務理事出席
- 19日(水) TDC アカデミア2017 卒後研修  
DSM
- 21日(金) 事業推進部学術委員会 運営委員会  
(エンドセミナー最終予演会)

23日(日)	TDC アカデミア2017 卒後研修 ベーシックセミナー		学術講演会 講師・奥田克爾名誉教授 (母校)
24日(月)	東京地域支部連合会支部長会 矢崎会長, 山口理事出席	27日(土)	四国地域支部連合会総会・支部長会 早速副会長, 中島・沖各理事出席
24日(月)	事業推進部学術委員会 運営委員会 (スポーツ歯科セミナー打合せ)		学術講演会 講師・櫻井 薫教授 (母校)
25日(火)	事業推進部学術委員会 運営委員会 (MTM セミナー打合せ)	27日(土)	九州地域支部連合会支部長会 澁谷副会長, 田部理事出席
27日(木)	TDC アカデミア2017 卒後研修 歯科臨床を語る会	29日(月)	事業推進部社会保障制度研究委員会
27日(木)	総務・厚生部ゴルフ大会委員会	31日(水)	事業推進部学術委員会 運営委員会 (ペリオセミナー打合せ)
5月1日(月)	渉外部渉外委員会	6月1日(木)	事業推進部学術委員会 運営委員会 (補綴セミナー・スポーツ歯科セ ミナー最終予演会)
8日(月)	事業推進部学術委員会 企画会議	1日(木)	同窓会事業改革検討会
8日(月)	総務・厚生部女性会員活動推進委員会	5日(月)	総務・厚生部総務厚生委員会
9日(火)	総務・厚生部新進会員のつどい実行 委員会	5日(月)	事業推進部学術委員会 企画会議
10日(水)	TDC アカデミア2017 卒後研修 TDC 研修倶楽部	6日(火)	総務・厚生部女性会員活動推進委員 会 平成29年度グループミーティング
11日(木)	総務・厚生部総務厚生委員会	9日(金)	広報部広報委員会
12日(金)	広報部広報委員会	10日(土)	東北地域支部連合会総会・支部長会 矢崎会長, 白井専務理事, 田島理事出席
13日(土)	宮城県支部総会 富山副会長出席 学術講演会 講師・野村武史教授 (母校)		学術講演会 講師・古澤成博教授 (母校)
15日(月)	会務運営協議会	11日(日)	TDC アカデミア2017 臨床セミナー Part1 補綴セミナー, Part2 スポー ツ歯科セミナー
17日(水)	TDC アカデミア2017 卒後研修 DSM	12日(月)	会務運営協議会
19日(金)	事業推進部学術委員会 運営委員会 (MTM セミナー打合せ)	12日(月)	同窓会事業改革検討会
20日(土)	福岡県支部学術講演会 講師・一戸 達也教授(母校)	13日(火)	事業推進部学術委員会 運営委員会 (MTMセミナー打合せ)
20日(土)・21日(日)	TDC アカデミア2017 臨床セミナー エンドセミナー	14日(水)	TDC アカデミア2017 卒後研修 TDC 研修倶楽部
21日(日)	神奈川歯科大学創立100周年記念式 典・祝賀会 矢崎会長出席	15日(木)	東歯関係日歯役員・代議員と同窓会 役員との懇談会
23日(火)	事業推進部学術委員会 運営委員会 (MTM セミナー打合せ)	16日(金)	事業推進部学術委員会 運営委員会 (ペリオセミナー最終予演会)
24日(水)	第3回常任理事会	17日(土)	第3回理事会
25日(木)	監査会	20日(火)	事業推進部学術委員会 運営委員会 (MTMセミナー打合せ)
25日(木)	TDC アカデミア2017 卒後研修 歯科臨床を語る会	21日(水)	会報検討会
26日(金)	渋谷支部総会 矢崎会長出席	21日(水)	TDC アカデミア2017 卒後研修 DSM
27日(土)	北陸地域支部連合会総会・支部長会 矢崎会長, 白井専務理事, 野田理事出席		

- 22日(木) TDC アカデミア2017 卒後研修  
歯科臨床を語る会
- 24日(土) 近畿地域支部連合会支部長会  
白井専務理事, 稲野理事出席
- 24日(土) 福島県支部総会 澁谷副会長出席  
学術講演会 講師・矢島安朝教授  
(母校)
- 28日(水) 全国歯科大学同窓会・校友会学術担  
当者連絡会についての打合せ
- 29日(木) 総務・厚生部新進会員のつどい実行  
委員会
- 30日(金) 事業推進部学術委員会 企画会議
- 7月1日(土) 中国地域支部連合会総会・支部長会  
矢崎会長, 早速副会長,  
野間理事出席  
学術講演会 講師・橋本正次教授  
(母校)
- 1日(土) 群馬県支部総会 高橋理事出席  
学術講演会 講師・古澤成博教授  
(母校)
- 8日(土) 新潟県支部総会 富山副会長出席
- 9日(日) TDC アカデミア2017 臨床セミナー  
ペリオセミナー
- 9日(日) 愛知県支部学術講演会 講師・阿部  
伸一教授(母校)
- 10日(月) 会長, 専務理事, 会計担当常任理事  
と副会長, 担当常任理事との意見交  
換(ヒヤリング)【広報部】
- 11日(火) 会長, 専務理事, 会計担当常任理事  
と副会長, 担当常任理事との意見交  
換(ヒヤリング)【渉外部, 事業推  
進部】
- 12日(水) TDC アカデミア2017 卒後研修  
TDC 研修倶楽部
- 13日(木) 総務・厚生部ゴルフ大会委員会
- 14日(金) 会長, 専務理事, 会計担当常任理事  
と副会長, 担当常任理事との意見交  
換(ヒヤリング)【総務・厚生部】
- 18日(火) 会務運営協議会
- 18日(火) 事業推進部学術委員会 2018年プロ  
グラム委員会(ベーシックハンズオ  
ンセミナー打合せ)
- 19日(水) 広報部広報委員会
- 19日(水) TDC アカデミア2017 卒後研修  
DSM
- 22日(土) 九州大学歯学部同窓会創立50周年記  
念式典・祝賀会 矢崎会長出席
- 22日(土) 小樽支部総会, 小樽同窓会発足120  
周年記念総会 財部副会長出席
- 24日(月) 事業推進部社会保障制度研究委員会
- 25日(火) 事業推進部学術委員会 運営委員会  
(MTM セミナーワークショップ)
- 25日(火) 事業推進部学術委員会 MTM セミ  
ナーワークショップ
- 26日(水) 第4回常任理事会
- 27日(木) TDC アカデミア2017 卒後研修  
歯科臨床を語る会
- 30日(日) 学年代表者会
- 8月2日(水) 渉外部渉外委員会
- 2日(水) 総務・厚生部女性会員活動推進委員  
会
- 3日(木) 総務・厚生部ゴルフ大会委員会(全  
体会)
- 6日(日) 事業推進部学術委員会 全体委員会
- 7日(月) 広報部広報委員会
- 8日(火) 全国歯科大学同窓会・校友会学術担  
当者連絡会についての打合せ
- 9日(水) TDC アカデミア2017 卒後研修  
TDC 研修倶楽部
- 16日(水) TDC アカデミア2017 卒後研修  
DSM
- 17日(木) 総務・厚生部新進会員のつどい実行  
委員会
- 19日(土) 北海道地域支部連合会総会・支部長会  
矢崎会長, 白井専務理事,  
戸田理事出席
- 19日(土) 宮崎県支部学術講演会 講師・杉原  
直樹教授(母校)
- 24日(木) TDC アカデミア2017 卒後研修  
歯科臨床を語る会
- 26日(土) 北海道地域支部連合会学術講演会  
講師・上條英之教授(母校)
- 26日(土)・27日(日) 第33回全国歯科大学同窓  
会・校友会学術担当者連絡会  
宮地顧問出席
- 28日(月) 東京地域支部連合会 靖心会  
矢崎会長出席

平成28年9月1日より平成29年8月31日までに逝去された会員は次のとおりです。

(敬称略)

山梨県	三木純子	宮城県	八幡昌介	広島県	平戸正文	愛媛県	高市正浩
栃木県	佐川巖	愛知県	横田秋三朗	千葉県	山本裕祥	新潟県	五十嵐重之
(本郷)	千葉緑	(愛知県)	越知博	群馬県	高松知三	世田谷	横田由三
(大森)	東昇平	島根県	四方正光	(千代田)	小谷元治	(千葉県)	竹内孟
愛知県	鈴木恭平	日本橋	柴田一美	愛知県	横田昭三	(茨城県)	中山悦治
(大阪府)	高橋潔	栃木県	村上晃	四谷牛込	柳澤旭	福島県	熊田雄之
鹿児島県	秋田利雄	広島県	平戸亮司	富山県	石崎護	横浜中央	山本秀次郎
世田谷	橋本元	長崎県	渡邊修志	三重県	中西亨之	福井県	嶋田啓三郎
大阪府	上脇英雄	長崎県	宮内孝雄	愛知県	岡田修二	杉並	大竹肇
渋谷	賀久麻織	千葉県	山川真知子	新潟県	内山登美枝	横浜中央	皆川清利
丸の内	山崎文男	大森	酒井潔	岡山県	近常良孝	栃木県	武田清
岡山県	市場保	宮城県	下田一郎	玉川	鈴木捷弘	名誉会員	片桐重雄
小樽	安藤猛	愛知県	高田敦孟	(玉川)	坪田實	北多摩	西元繁歳
北多摩	長島孝夫	(下谷)	大石弘子	香川県	中山孝幸	札幌	田山俊二
三重県	金子淳	愛知県	磯部喜彦	横浜西部	島田英明	群馬県	田沼百合子
神奈川相北	石田新也	岡山県	岸田昭	神奈川相北	嶋田貢	(川崎)	光澤龍雄
三重県	寺本康郎	広島県	野村浩	川崎	間中章介	埼玉県	勝股恒美
神奈川湘南	鈴木靖彦	横浜南部	木村剛	横浜北部	米山周一	練馬	佐牟田和康
日本橋	高山良光	岡山県	宮脇清	群馬県	片野光一郎	兵庫県	添田壽一郎
練馬	杉浦勲	愛知県	櫻井真幸	城東	古川正	宮城県	横田由喜也
三重県	加藤敬介	埼玉県	高橋四郎	広島県	高梨玲子	青森県	安田良造
静岡県	稲垣一臣	岡山県	三宅康夫	静岡県	笹本馥嵩	群馬県	森下正教
静岡県	若尾紀雄	(千葉県)	鈴木隆	愛知県	日比浩樹	新潟県	田村博親
群馬県	宮下眞治	岡山県	小川克昌	荏原	古澤節夫	青森県	櫻田守利
千葉県	小舩邦夫	山口県	福岡公介	栃木県	小川隆	石川県	斉川勇
(北多摩)	阿部春美	(住所不明)	田熊恒寿	芝	石井俊男	埼玉県	大和田一彦
千葉県	中山静夫	京都府	熊本順彦	神奈川西湘	寺尾一栄	(千葉県)	折戸聡
静岡県	大石康雄	千代田	三輪久夫	徳島県	米津武郎	(島根県)	神庭恒久
名誉会員	中久喜喬	横浜北部	土橋康男	愛知県	竹内良伯	栃木県	湯澤哲郎
(深川)	齋藤文明	世田谷	矢内謙次	墨田	樋浦秀一郎	三重県	神山敏男
茨城県	渡邊博太	新潟県	佐藤徹	品川	松澤稔	千葉県	荒木覚

※必ずしも支部所属とは限りません。

(届出順 以上 124名)

※この間に逝去が確認された方を含みます。

# 総務・厚生部報告

(自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)

1. 共済規程第6条第1項一号に基づき弔慰共済金を支給した逝去会員は次のとおりです。

(敬称略)

山梨県	三木純子	宮城県	八幡昌介	広島県	平戸正文	愛媛県	高市正浩
栃木県	佐川巖	愛知県	横田秋三朗	千葉県	山本裕祥	新潟県	五十嵐重之
(本郷)	千葉緑	群馬県	高松知三	世田谷	横田由三	島根県	四方正光
(千代田)	小谷元治	愛知県	鈴木恭平	日本橋	柴田一美	愛知県	横田昭三
(茨城県)	中山悦治	栃木県	村上晃	四谷牛込	柳澤旭	福島県	熊田雄之
鹿児島県	秋田利雄	広島県	平戸亮司	富山県	石崎護	横浜中央	山本秀次郎
世田谷	橋本元	長崎県	渡邊修志	三重県	中西亨之	福井県	嶋田啓三郎
大阪府	上脇英雄	長崎県	宮内孝雄	愛知県	岡田修二	杉並	大竹肇
渋谷	賀久麻織	千葉県	山川真知子	新潟県	内山登美枝	横浜中央	皆川清利
大森	酒井潔	岡山県	近常良孝	栃木県	武田清	岡山県	市場保
宮城県	下田一郎	名誉会員	片桐重雄	小樽	安藤猛	愛知県	高田敦孟
北多摩	西元繁歳	北多摩	長島孝夫	(下谷)	大石弘子	香川県	中山孝幸
札幌	田山俊二	三重県	金子淳	愛知県	磯部喜彦	横浜西部	島田英明
群馬県	田沼百合子	神奈川相北	石田新也	岡山県	岸田昭	神奈川相北	嶋田貢
(川崎)	光澤龍雄	三重県	寺本康郎	広島県	野村浩	川崎	間中章介
埼玉県	勝股恒美	神奈川湘南	鈴木靖彦	横浜南部	木村剛	横浜北部	米山周一
練馬	佐牟田和康	日本橋	高山良光	岡山県	宮脇清	群馬県	片野光一郎
兵庫県	添田壽一郎	練馬	杉浦勲	愛知県	櫻井真幸	城東	古川正
宮城県	横田由喜也	三重県	加藤敬介	埼玉県	高橋四郎	広島県	高梨玲子
青森県	安田良造	静岡県	稲垣一臣	岡山県	三宅康夫	静岡県	笹本馥嵩
群馬県	森下正教	静岡県	若尾紀雄	(千葉県)	鈴木隆	愛知県	日比浩樹
新潟県	田村博親	群馬県	宮下眞治	岡山県	小川克昌	荏原	古澤節夫
青森県	櫻田守利	千葉県	小船邦夫	山口県	福岡公介	栃木県	小川隆
石川県	斉川勇	(北多摩)	阿部春美	(住所不明)	田熊恒寿	芝	石井俊男
埼玉県	大和田一彦	千葉県	中山静夫	京都府	熊本順彦	神奈川西湘	寺尾一栄
静岡県	大石康雄	千代田	三輪久夫	徳島県	米津武郎	名誉会員	中久喜喬
横浜北部	土橋康男	愛知県	竹内良伯	栃木県	湯澤哲郎	(深川)	齋藤文明
世田谷	矢内謙次	墨田	樋浦秀一郎	三重県	神山敏男	茨城県	渡邊博太
新潟県	佐藤徹	品川	松澤稔	千葉県	荒木覚		

※必ずしも支部所属とは限りません。

(届出順 以上 115名)

2. 風水害地震等罹災に対し、共済規程第6条に基づき罹災共済金（見舞金）を支給した会員は次のとおりです。

共済規程第6条第1項二号

新潟県支部	永野 正司 氏（昭和63年卒）	平成28年12月22日発生 新潟県糸魚川市大規模火災
新潟県支部	永野 雅美 氏（昭和63年卒）	平成28年12月22日発生 新潟県糸魚川市大規模火災
(新進会員)	阿部駿一郎 氏（平成28年卒）	平成28年12月22日発生 新潟県糸魚川市大規模火災
以上3名		

共済規程第6条第1項三号

岩手県支部	吉田 允 氏（昭和37年卒）	平成28年8月30日発生 台風10号
岩手県支部	吉田 阿子 氏（昭和37年卒）	平成28年8月30日発生 台風10号
鳥取県支部	熊野 光紀 氏（昭和38年卒）	平成28年10月21日発生 鳥取県中部地震
鳥取県支部	川西信太郎 氏（昭和39年卒）	平成28年10月21日発生 鳥取県中部地震
鳥取県支部	倉繁 雅弘 氏（昭和60年卒）	平成28年10月21日発生 鳥取県中部地震
鳥取県支部	近 豊浩 氏（平成3年卒）	平成28年10月21日発生 鳥取県中部地震
以上6名		

## 第1号議案

# 名誉会員の推薦

本会会則第23条第2項並びに同施行細則第10条に基づき次の会員を本会名誉会員に推薦する。

施行細則第10条第1項一号

東京歯科大学名誉教授 <sup>たか</sup>高 <sup>の</sup>野 <sup>のぶ</sup>伸 <sup>お</sup>夫 氏 昭和51年卒

東京歯科大学 口腔がんセンター

(平成29年3月31日退職)

平成29年4月1日 東京歯科大学名誉教授

施行細則第10条第1項二号

深川支部 <sup>あつ</sup>熱 <sup>た</sup>田 <sup>しゅんのすけ</sup>俊之助 氏 昭和24年卒

## 第2号議案

# 東京歯科大学同窓会会則の 第2条および第10条の一部改正

## 第3号議案

# 東京歯科大学同窓会共済規程の廃止および 東京歯科大学同窓会慶弔基金規程の制定

## 第4号議案

# 第3号議案の可決に伴う 東京歯科大学同窓会会則の一部改正

第5号議案

平成28年度 経常部収支決算

自 平成28年1月1日  
至 平成28年12月31日

収入の部

△印 = 予算額に比較し増額の場合

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
会 費	92,000,000 <sup>円</sup>	86,908,000 <sup>円</sup>	5,092,000 <sup>円</sup>	94.5%	平成28年度分 4,213人 76,862,000円 平成27年度分 316人 5,256,000円 平成26年度以前分 280人 4,790,000円 合計 4,809人 86,908,000円  平成28年度 18,000円×4,024人 大学支部所属の推薦会員 10,000円× 26人 新進会員 10,000円× 36人 新入会員 30,000円× 127人 平成27年度 18,000円× 262人 大学支部所属の推薦会員 10,000円× 1人 新進会員 10,000円× 53人  平成1年度 14,000円× 2人 平成2年度 14,000円× 3人 平成3年度 14,000円× 3人 平成4年度 14,000円× 2人 平成5年度 14,000円× 3人 平成6年度 14,000円× 2人 平成7年度 14,000円× 2人 平成8年度 14,000円× 2人 平成9年度 14,000円× 3人 平成10年度 14,000円× 2人 平成11年度 20,000円× 2人 平成12年度 20,000円× 4人 平成13年度 20,000円× 5人 平成14年度 18,000円× 5人 平成15年度 18,000円× 3人 平成16年度 18,000円× 4人 平成17年度 18,000円× 7人 平成18年度 18,000円× 11人 平成19年度 18,000円× 8人 平成20年度 18,000円× 13人 平成21年度 18,000円× 17人 平成22年度 18,000円× 23人 平成23年度 18,000円× 23人 平成24年度 18,000円× 32人 平成25年度 18,000円× 33人 10,000円× 8人 平成26年度 18,000円× 44人 10,000円× 14人 合計 280人
入会金	10,000	20,000	△ 10,000	200.0	新卒者 0円× 127人 推薦会員 5,000円× 4人 大学院修了者 5,000円× 0人
雑収入	1,130,000	2,025,714	△ 895,714	179.3	
繰入金収入	800,000	800,000	0	100.0	卒業研修セミナー積立金より繰入
収入計	93,940,000	89,753,714	4,186,286	95.5	
前年度繰越金	8,000,000	14,211,963	△ 6,211,963	177.6	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 12,559,766円 三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 1,593,481円 ゆうちょ銀行 通常貯金 58,716円
合 計	101,940,000	103,965,677	△ 2,025,677	102.0	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
事務費	36,030,000	35,681,587	348,413	99.0	
給与費	21,820,000	21,951,939	△ 131,939	100.6	
福利厚生費	1,020,000	1,038,468	△ 18,468	101.8	
地代家賃	4,250,000	4,248,000	2,000	100.0	
通信費	1,530,000	1,086,102	443,898	71.0	
印刷費	890,000	643,635	246,365	72.3	
備品購入費	200,000	0	200,000	0.0	
消耗品費	330,000	585,983	△ 255,983	177.6	
集金手数料	3,550,000	3,625,700	△ 75,700	102.1	
保守管理委託費	590,000	577,056	12,944	97.8	
会員情報管理システム改修費	1,700,000	1,674,750	25,250	98.5	
雑費	150,000	249,954	△ 99,954	166.6	
事業費	51,810,000	44,608,244	7,201,756	86.1	
旅費交通費	19,350,000	18,553,984	796,016	95.9	
総務・厚生関係費	4,165,000	3,930,627	234,373	94.4	
渉外関係費	1,060,000	766,756	293,244	72.3	
広報関係費	12,365,000	10,147,193	2,217,807	82.1	
事業推進関係費	2,020,000	1,477,150	542,850	73.1	
会合費	500,000	362,600	137,400	72.5	
連合会・支部関係費	4,180,000	3,850,000	330,000	92.1	
交際費	4,440,000	2,158,912	2,281,088	48.6	
慶弔費	2,190,000	1,911,600	278,400	87.3	
雑費	1,540,000	1,449,422	90,578	94.1	
会議費	2,230,000	1,254,306	975,694	56.2	
役員会費	10,000	0	10,000	0.0	
評議員会費・都道府県代表者会費	1,900,000	981,840	918,160	51.7	平成28年11月20日開催
学年代表者会費	30,000	13,954	16,046	46.5	平成28年7月24日開催
雑費	290,000	258,512	31,488	89.1	
特別会計繰入金	2,110,000	2,120,000	△ 10,000	100.5	
高山・血脇記念同窓会基金	110,000	120,000	△ 10,000	109.1	
名簿積立金	2,000,000	2,000,000	0	100.0	
予備費	9,760,000	0	9,760,000	0.0	
支出計	101,940,000	83,664,137	18,275,863	82.1	
次年度繰越金	0	20,301,540	△ 20,301,540		三菱東京UFJ銀行 普通預金 19,642,437円 三菱東京UFJ銀行 普通預金 600,381円 ゆうちょ銀行 通常貯金 58,722円
合 計	101,940,000	103,965,677	△ 2,025,677	102.0	

## 第6号議案 平成28年度 高山・血脇記念同窓会基金収支決算

自 平成28年1月1日  
至 平成28年12月31日

### 収入の部

△印 = 予算額に比較し増額の場合

科目	予算額	決算額	差額	比率	摘要
繰入金	110,000 <sup>円</sup>	120,000 <sup>円</sup>	△ 10,000 <sup>円</sup>	109.1 <sup>%</sup>	入会金 経常部より繰入 預金利息
雑収入	10,000	5,269	4,731	52.7	
収入計	120,000	125,269	△ 5,269	104.4	
前年度繰越金	25,750,000	25,755,496	△ 5,496	100.0	三菱東京UFJ銀行 普通預金 1,451,609円 三菱東京UFJ銀行 定期預金 12,000,000円 みずほ信託銀行 普通預金 153,887円 みずほ信託銀行 定期預金 12,150,000円
合計	25,870,000	25,880,765	△ 10,765	100.0	

### 支出の部

科目	予算額	決算額	差額	比率	摘要
繰入金支出	0 <sup>円</sup>	0 <sup>円</sup>	0 <sup>円</sup>	0 <sup>%</sup>	三菱東京UFJ銀行 普通預金 1,574,284円 三菱東京UFJ銀行 定期預金 12,000,000円 みずほ信託銀行 普通預金 156,481円 みずほ信託銀行 定期預金 12,150,000円
支出計	0	0	0		
次年度繰越金	25,870,000	25,880,765	△ 10,765	100.0	
合計	25,870,000	25,880,765	△ 10,765	100.0	

## 平成28年度 共済基金収支決算

自 平成28年1月1日  
至 平成28年12月31日

### 収入の部

△印 = 予算額に比較し増額の場合

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
共済負担金	17,030,000 <sup>円</sup>	16,426,000 <sup>円</sup>	604,000 <sup>円</sup>	96.5%	平成28年度分 4,558人 14,436,000円 平成27年度分 340人 1,020,000円 平成26年度以前分 294人 970,000円 合計 5,192人 16,426,000円  平成28年度分 3,000円×4,431人 新入会員 9,000円×127人 平成27年度分 3,000円×340人  平成1～20年度 4,000円×88人 平成21～26年度 3,000円×206人 合計 294人 預金利息
雑収入	100,000	18,005	81,995	18.0	
収入計	17,130,000	16,444,005	685,995	96.0	
前年度繰越金	80,000,000	94,958,001	△14,958,001	118.7	三菱東京UFJ銀行 普通預金 16,268,087円 三菱東京UFJ銀行 定期預金 75,000,000円 みずほ信託銀行 普通預金 239,914円 みずほ信託銀行 定期預金 3,450,000円
合 計	97,130,000	111,402,006	△14,272,006	114.7	

### 支出の部

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
共済金	14,200,000 <sup>円</sup>	12,690,000 <sup>円</sup>	1,510,000 <sup>円</sup>	89.4%	弔慰共済金 6,950,000円 (@100,000×31件) (@50,000×77件) 罹災共済金 1,440,000円 (@100,000×8件) (@70,000×6件) (@50,000×2件) (@30,000×4件) 80歳祝金 4,100,000円 (@50,000×82件) 100歳祝金 200,000円 (@50,000×4件)
事務費	200,000	137,682	62,318	68.8	弔慰金, 祝金送料 他
予備費	6,000,000	0	6,000,000	0.0	
給付準備金	76,730,000	300,000	76,430,000	0.4	熊本県支部(平成28年熊本地震見舞金) 300,000円
支出計	97,130,000	13,127,682	84,002,318	13.5	
次年度繰越金	0	98,274,324	△98,274,324		三菱東京UFJ銀行 普通預金 19,583,655円 三菱東京UFJ銀行 定期預金 75,000,000円 みずほ信託銀行 普通預金 240,669円 みずほ信託銀行 定期預金 3,450,000円
合 計	97,130,000	111,402,006	△14,272,006	114.7	

## 平成28年度 名簿積立金収支決算

自 平成28年1月1日  
至 平成28年12月31日

### 収入の部

△印 = 予算額に比較し増額の場合

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
繰入金	円 2,000,000	円 2,000,000	円 0	%	経常部より繰入 預金利息
雑収入	10,000	132	9,868	1.3	
収入計	2,010,000	2,000,132	9,868	99.5	
前年度繰越金	2,587,741	1,001,108	1,586,633	38.7	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 1,001,108円
合 計	4,597,741	3,001,240	1,596,501	65.3	

### 支出の部

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
名簿作成費	円 0	円 0	円 0	%	
支出計	0	0	0		
次年度繰越金	4,597,741	3,001,240	1,596,501	65.3	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 3,001,240円
合 計	4,597,741	3,001,240	1,596,501	65.3	

## 平成28年度 退職積立金収支決算

自 平成28年1月1日  
至 平成28年12月31日

### 収入の部

△印 = 予算額に比較し増額の場合

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
繰入金	円 0	円 0	円 0	%	預金利息
雑収入	10,000	842	9,158	8.4	
収入計	10,000	842	9,158	8.4	
前年度繰越金	9,163,516	9,163,516	0	100.0	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 9,163,516円
合 計	9,173,516	9,164,358	9,158	99.9	

### 支出の部

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
退職金支出	円 0	円 0	円 0	%	
支出計	0	0	0		
次年度繰越金	9,173,516	9,164,358	9,158	99.9	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 9,164,358円
合 計	9,173,516	9,164,358	9,158	99.9	

# 平成28年度 同窓会創立120周年記念事業積立金収支決算

自 平成28年1月1日  
至 平成28年12月31日

## 収入の部

△印=予算額に比較し増額の場合

科目	予算額	決算額	差額	比率	摘要
繰入金	円 0	円 0	円 0	%	預金利息
雑収入	10,000	842	9,158	8.4	
収入計	10,000	842	9,158	8.4	
前年度繰越金	4,000,000	3,048,479	951,521	76.2	三菱東京UFJ銀行 普通預金 3,048,479円
合計	4,010,000	3,049,321	960,679	76.0	

## 支出の部

科目	予算額	決算額	差額	比率	摘要
記念誌等関係費	円 4,000,000	円 2,751,548	円 1,248,452	% 68.8	三菱東京UFJ銀行 普通預金 0円
雑費	10,000	297,773	△ 287,773	2,977.7	
支出計	4,010,000	3,049,321	960,679	76.0	
次年度繰越金	0	0	0		
合計	4,010,000	3,049,321	960,679	76.0	

## 第7号議案 平成28年度 卒後研修セミナー収支決算

自 平成28年1月1日  
至 平成28年12月31日

収入の部

△印=予算額に比較し増額の場合

科目	予算額	決算額	差額	比率	摘要
受講料	5,360,000 <sup>円</sup>	7,774,000 <sup>円</sup>	△ 2,414,000 <sup>円</sup>	145.0%	臨床セミナー セミナー No. 1 顎関節症の診かたからマイクロストレッチ療法まで 632,000円 〔受講割引なし〕 12,000×31人 372,000円 〔受講割引あり〕 10,000×26人 260,000円 セミナー No. 2 今こそ見直そう！あなたの根管治療2016 3,020,000円 〔受講割引なし〕 120,000×21人 2,520,000円 〔受講割引あり〕 100,000×5人 500,000円 セミナー No. 3 明日からの臨床に活かせる歯の移植・再植！ 1,162,000円 〔受講割引なし〕 20,000×41人 820,000円 〔受講割引あり〕 18,000×19人 342,000円 セミナー No. 4 明日から取り組めるコーヌスクローネ 2,960,000円 〔受講割引なし〕 100,000×28人 2,800,000円 〔受講割引あり〕 80,000×2人 160,000円 合計 7,774,000円
雑収入	20,000	548	19,452	2.7	預金利息
繰入金収入	1,200,000	1,200,000	0	100.0	卒後研修セミナー積立金より繰入
収入計	6,580,000	8,974,548	△ 2,394,548	136.4	
前年度繰越金	1,000,000	4,443,923	△ 3,443,923	444.4	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 4,443,923円
合計	7,580,000	13,418,471	△ 5,838,471	177.0	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
事務費	490,000	244,050	245,950	49.8	
通信運搬費	450,000	169,755	280,245	37.7	
消耗品費	30,000	73,653	△ 43,653	245.5	
雑費	10,000	642	9,358	6.4	
事業費	6,190,000	5,540,988	649,012	89.5	
講師謝礼費	1,370,000	940,000	430,000	68.6	
講師旅費交通費	330,000	157,900	172,100	47.8	
資料作成費	310,000	330,000	△ 20,000	106.5	
役務費	300,000	365,000	△ 65,000	121.7	
実習器材費	1,500,000	1,498,263	1,737	99.9	
設営費	550,000	311,864	238,136	56.7	
印刷広報費	800,000	749,736	50,264	93.7	
受講証関係費	50,000	2,145	47,855	4.3	
広告費	700,000	950,400	△ 250,400	135.8	
渉外費	80,000	35,680	44,320	44.6	
会場費	200,000	200,000	0	100.0	
公租公課	400,000	0	400,000	0.0	
予備費	500,000	0	500,000	0.0	
支出計	7,580,000	5,785,038	1,794,962	76.3	
次年度繰越金	0	7,633,433	△ 7,633,433		三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 7,633,433円
合 計	7,580,000	13,418,471	△ 5,838,471	177.0	

平成28年度 卒後研修セミナー積立金収支決算

自 平成28年1月1日  
至 平成28年12月31日

収入の部

△印 = 予算額に比較し増額の場合

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
雑収入	10,000	15	9,985	0.2	預金利息
収入計	10,000	15	9,985	0.2	
前年度繰越金	14,159,000	14,158,845	155	100.0	みずほ信託銀行 普通預金 158,845円 みずほ信託銀行 定期預金 14,000,000円
合 計	14,169,000	14,158,860	10,140	99.9	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
繰入金支出	2,000,000	2,000,000	0	100.0	経常部へ繰入 800,000円 卒後研修セミナーへ繰入 1,200,000円
通信費	0	1,728	△ 1,728		振込手数料
支出計	2,000,000	2,001,728	△ 1,728	100.1	
次年度繰越金	12,169,000	12,157,132	11,868	99.9	みずほ信託銀行 普通預金 157,132円 みずほ信託銀行 定期預金 12,000,000円
合 計	14,169,000	14,158,860	10,140	99.9	

## 第8号議案 平成28年度 時局対策費積立金会計収支決算

自 平成28年1月1日  
至 平成28年12月31日

### 収入の部

△印 = 予算額に比較し増額の場合

科目	予算額	決算額	差額	比率	摘要
繰入金	円 1,500,000	円 1,500,000	円 0	% 100.0	経常部より繰入 預金利息
雑収入	10,000	2,851	7,149	28.5	
収入計	1,510,000	1,502,851	7,149	99.5	
前年度繰越金	14,554,889	16,554,889	△ 2,000,000	113.7	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 4,554,889円 三菱東京 UFJ 銀行 定期預金 12,000,000円
合計	16,064,889	18,057,740	△ 1,992,851	112.4	

### 支出の部

科目	予算額	決算額	差額	比率	摘要
支部加入促進費	円 1,000,000	円 0	円 1,000,000	% 0.0	熊本県支部へ熊本地震初期活動費として
支部活動費	0	100,000	△ 100,000		
渉外関係活動費	0	1,000,000	△ 1,000,000		
支出計	1,000,000	1,100,000	△ 100,000	110.0	
次年度繰越金	15,064,889	16,957,740	△ 1,892,851	112.6	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 4,957,740円 三菱東京 UFJ 銀行 定期預金 12,000,000円
合計	16,064,889	18,057,740	△ 1,992,851	112.4	

第9号議案

平成28年度 財産目録

平成28年12月31日

1. 備 品

機 器 備 品

	品 目	数量	購入年月	購入価格	備 考
1	収納戸棚	3	H 9. 10	370, 650	
2	書類保管庫	3	H13. 4	370, 482	
3	プロジェクター	1	H14. 8	338, 100	Epson
4	ビデオカメラ	1	H19. 12	138, 906	
5	プロジェクター	1	H19. 12	279, 800	
6	書類保管庫	1	H20. 9	115, 815	
	計 6 品 目	10		1, 613, 753	

消 耗 備 品

	品 目	数 量	購入価格	備 考
1	片袖机 他	42点	1, 568, 966	

2. 普通預金, 定期預金, 通常貯金

会計区分	種類	預金残高	取引銀行
(1) 経常部	普通預金	19,642,437	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
	〃	600,381	〃
	通常貯金	58,716	神田三崎町郵便局
計		20,301,534	
(2) 高山・血脇記念同窓会基金	普通預金	334,991	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
	定期預金	12,000,000	〃
	普通預金	1,239,293	〃
	普通預金	156,481	みずほ信託銀行 本店
	定期預金	12,150,000	〃
計		25,880,765	
(3) 共済基金	普通預金	19,583,655	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
	定期預金	75,000,000	〃
	普通預金	240,669	みずほ信託銀行 本店
	定期預金	3,450,000	〃
計		98,274,324	
(4) 名簿積立金	普通預金	3,001,240	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
計		3,001,240	
(5) 退職積立金	普通預金	9,164,358	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
計		9,164,358	
(6) 同窓会創立120周年記念事業積立金	普通預金	0	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
計		0	
(7) 卒後研修セミナー	普通預金	7,633,433	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
計		7,633,433	
(8) 卒後研修セミナー積立金	普通預金	157,132	みずほ信託銀行 本店
	定期預金	12,000,000	〃
計		12,157,132	
(9) 時局対策費積立金	普通預金	4,957,740	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
	定期預金	12,000,000	〃
計		16,957,740	
合計		193,370,526	

## 監 査 報 告

平成28年度東京歯科大学同窓会業務運営状況及び経常部収支決算、特別会計収支決算（即ち、高山・血脇記念同窓会基金決算、共済基金決算、名簿積立金決算、退職積立金決算、同窓会創立120周年記念事業積立金決算）、卒後研修セミナー収支決算、卒後研修セミナー積立金収支決算、時局対策費積立金会計収支決算、及び財産目録につき諸帳簿、証憑書類を監査した結果適正に処理されていることを認めます。

平成29年5月25日

常任監事 春 山 良 夫 ⑩

監 事 藤 原 元 幸 ⑩

監 事 矢 島 安 朝 ⑩

総務・厚生部

1. 支部未入会者対策を講じる。
2. 準会員・新進会員との連携を深める。
3. 母校水道橋校舎整備事業に協力する。
4. 諸会合の準備・調整並びに運営を行う。
5. 会員現況の把握並びに名簿の補完を図る。
6. 母校・父兄会・学生との連携を図る。
7. 同窓会改革をすすめ、そのための会則等の見直しを行う。
8. 支部・地域支部連合会，都道府県代表者，学年代表者との情報交換を促進する。
9. 慶弔基金の円滑な運営を図る。
10. 会員厚生および親睦の充実を図る。
11. 女性会員の活動推進を図る。
12. 会員名簿発行の検討，準備を行う。

渉 外 部

1. 各歯科大学・大学歯学部と同窓会・校友会との交流を図り，緊密なる友好を深める。
2. 会員の歯科医政関係者との緊密な連携を保ち医政の推進を図る。
3. 母校との連携のもとに国・公・私的機関等と協力し，人材の確保，育成に努める。
4. 渉外活動に関する情報交換を進め，全国レベルでの情報の共有と集約を図る。
5. 東歯同窓国会議員を支える会を介して，東歯同窓国会議員を支援する。

広 報 部

1. 会報を年4回発行し，会員と情報交換を図る。
2. ホームページ・フェイスブックの維持管理を行う。
3. インターネットを通じた情報交換システムを検討推進する。
4. 同窓会と会員間の交流のためのネットワークシステムを推進する。

事業推進部

1. 人材育成を目的とするアカデミア事業に関連委員会が連携をとって取り組む。
2. 地域支部連合会・支部における講演会や研修活動を支援する。
3. 各歯科大学・大学歯学部と同窓会・校友会学術担当者や社会保障関係者と交流を深める。
4. 生涯研修制度や歯科保健医療制度の動きを分析し，現状の課題を解説し将来を考察するシンクタンク機能の推進を図る。
5. 生涯研修としての学術セミナーおよび研修会を開催する。
6. 最新の学術情報の収集および分析を行い，整理蓄積する。

第11号議案

平成30年度 入会金および会費等

平成30年度	入会金	本学出身の会員	0円
		推薦会員	5,000円
平成30年度	会費		20,000円
		若手の会員（卒後6～10年目）	10,000円
		新進会員（卒後5年以内）	10,000円
		大学支部に所属する推薦会員	10,000円
平成30年度	負担金		0円

第12号議案

平成30年度 経常部収支予算

自 平成30年1月1日  
至 平成30年12月31日

収入の部

△印 = 前年度予算額に比較し増額の場合

科 目	平成29年度予算額	平成30年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
会費	89,000,000	92,100,000	△ 3,100,000	103.5	平成30年度分 4,060人 83,000,000円 平成29年度分 310人 5,100,000円 平成28年度以前分 280人 4,000,000円 合計 4,650人 92,100,000円
入会金	10,000	10,000	0	100.0	新卒者入会金 0円 推薦会員入会金 5,000円×2人
負担金	0	0	0		
雑収入	1,500,000	1,380,000	120,000	92.0	会報広告料 他
繰入金収入	800,000	800,000	0	100.0	卒後研修セミナー積立金より繰入
収入計	91,310,000	94,290,000	△ 2,980,000	103.3	
前年度繰越金	8,000,000	20,000,000	△12,000,000	250.0	
合 計	99,310,000	114,290,000	△14,980,000	115.1	

支出の部

科 目	平成29年度予算額	平成30年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
事務費	34,428,000	34,993,003	△ 565,003	101.6	
給与費	22,046,000	22,788,253	△ 742,253	103.4	事務職員
福利厚生費	1,082,000	780,000	302,000	72.1	役員等傷害保険, 中退共掛金
地代家賃	4,250,000	4,250,000	0	100.0	同窓会室, 駐車場
通信費	1,383,000	1,375,000	8,000	99.4	
印刷費	795,000	720,000	75,000	90.6	
備品購入費	200,000	200,000	0	100.0	
消耗品費	337,000	333,000	4,000	98.8	
集束手数料	3,410,000	3,910,000	△ 500,000	114.7	
保守管理委託費	580,000	238,750	341,250	41.2	
会員情報管理システム改修費	200,000	200,000	0	100.0	会員情報管理データベースの機能追加, 改修作業
雑費	145,000	198,000	△ 53,000	136.6	
事業費	49,942,000	46,185,000	3,757,000	92.5	
旅費交通費	19,198,000	18,640,000	558,000	97.1	旅費日当削減
総務・厚生関係費	4,097,000	3,950,000	147,000	96.4	準会員・新進会員連携関係費
渉外関係費	1,060,000	1,060,000	0	100.0	
広報関係費	10,212,000	9,535,000	677,000	93.4	会報発行4回
事業推進関係費	1,775,000	1,540,000	235,000	86.8	アカデミア関係費
会合費	500,000	480,000	20,000	96.0	
連合会・支部関係費	4,290,000	4,740,000	△ 450,000	110.5	
交際費	5,175,000	4,615,000	560,000	89.2	
慶弔費	2,025,000	0	2,025,000	0.0	
雑費	1,610,000	1,625,000	△ 15,000	100.9	
会議費	1,830,000	1,600,000	230,000	87.4	
役員会費	10,000	10,000	0	100.0	
評議員会費・都道府県代表者会費	1,000,000	900,000	100,000	90.0	
学年代表者会費	530,000	400,000	130,000	75.5	
雑費	290,000	290,000	0	100.0	
特別会計繰入金	3,110,000	6,110,000	△ 3,000,000	196.5	
高山・血闘記念同窓会基金	110,000	110,000	0	100.0	
名簿積立金	3,000,000	3,000,000	0	100.0	
慶弔基金	0	3,000,000	△ 3,000,000		
支出計	89,310,000	88,888,003	421,997	99.5	
予備費	10,000,000	25,401,997	△15,401,997	254.0	
合 計	99,310,000	114,290,000	△14,980,000	115.1	

## 第13号議案 平成30年度 高山・血脇記念同窓会基金収支予算

自 平成30年1月1日  
至 平成30年12月31日

### 収入の部

△印 = 前年度予算額に比較し増額の場合

科 目	平成29年度予算額	平成30年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
繰入金	110,000	110,000	0	100.0	入会金 10,000円 経常部より繰入 100,000円
雑収入	10,000	3,000	7,000	30.0	預金利息 他
収入計	120,000	113,000	7,000	94.2	
前年度繰越金	25,868,000	16,001,000	9,867,000	61.9	
合 計	25,988,000	16,114,000	9,874,000	62.0	

### 支出の部

科 目	平成29年度予算額	平成30年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
母校への寄付	10,000,000	0	10,000,000	0.0	
通信費	5,000	5,000	0	100.0	
雑費	5,000	5,000	0	100.0	
支出計	10,010,000	10,000	10,000,000	0.1	
次年度繰越金	15,978,000	16,104,000	△ 126,000	100.8	
合 計	25,988,000	16,114,000	9,874,000	62.0	

## 平成30年度 共済基金収支予算

自 平成30年1月1日  
至 平成30年12月31日

### 収入の部

△印 = 前年度予算額に比較し増額の場合

科 目	平成29年度予算額	平成30年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
共済負担金	16,580,000	0	16,580,000	0.0	平成30年度分 0人 0円 平成29年度分 0人 0円 平成28年度以前分 0人 0円 合計 0人 0円
雑収入	100,000	0	100,000	0.0	預金利息 他
収入計	16,680,000	0	16,680,000	0.0	
前年度繰越金	80,000,000	101,000,000	△21,000,000	126.3	
合 計	96,680,000	101,000,000	△ 4,320,000	104.5	

### 支出の部

科 目	平成29年度予算額	平成30年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
共済金	14,600,000	0	14,600,000	0.0	弔慰共済金 0円 罹災共済金 0円 80歳祝金 0円 100歳祝金 0円
事務費	200,000	0	200,000	0.0	弔慰金, 祝金送料 他
繰入金支出	0	101,000,000	△101,000,000		慶弔基金へ移管
支出計	14,800,000	101,000,000	△86,200,000	682.4	
予備費	6,000,000	0	6,000,000	0.0	
給付準備金	75,880,000	0	75,880,000	0.0	
合 計	96,680,000	101,000,000	△ 4,320,000	104.5	

## 平成30年度 慶弔基金収支予算

自 平成30年1月1日  
至 平成30年12月31日

### 収入の部

△印 = 前年度予算額に比較し増額の場合

科 目	平成29年度予算額	平成30年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
基金収入	0	101,000,000	△101,000,000		共済基金より移管 経常部より繰入 預金利息 他
繰入金	0	3,000,000	△ 3,000,000		
雑収入	0	20,000	△ 20,000		
収入計	0	104,020,000	△104,020,000		
前年度繰越金	0	0	0		
合 計	0	104,020,000	△104,020,000		

### 支出の部

科 目	平成29年度予算額	平成30年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
弔慰金	0	6,400,000	△ 6,400,000		80,000円×50人, 30,000円×80人 50,000円×80人 30,000円×1人 20,000円×130件
80歳祝金	0	4,000,000	△ 4,000,000		
100歳祝金	0	30,000	△ 30,000		
供花料	0	2,600,000	△ 2,600,000		
通信費	0	305,000	△ 305,000		
雑費	0	10,000	△ 10,000		
支出計	0	13,345,000	△13,345,000		
予備費	0	90,675,000	△90,675,000		
合 計	0	104,020,000	△104,020,000		

## 平成30年度 名簿積立金収支予算

自 平成30年 1月 1日  
至 平成30年12月31日

### 収入の部

△印 = 前年度予算額に比較し増額の場合

科 目	平成29年度予算額	平成30年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
繰入金	円 3,000,000	円 3,000,000	円 0	% 100.0	経常部より繰入 預金利息 他
雑収入	10,000	3,000	7,000	30.0	
収入計	3,010,000	3,003,000	7,000	99.8	
前年度繰越金	3,001,368	6,001,259	△ 2,999,891	200.0	
合 計	6,011,368	9,004,259	△ 2,992,891	149.8	

### 支出の部

科 目	平成29年度予算額	平成30年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
名簿作成費	円 0	円 0	円 0	%	
雑費	0	3,000	△ 3,000		
支出計	0	3,000	△ 3,000		
次年度繰越金	6,011,368	9,001,259	△ 2,989,891	149.7	
合 計	6,011,368	9,004,259	△ 2,992,891	149.8	

## 平成30年度 退職積立金収支予算

自 平成30年 1月 1日  
至 平成30年12月31日

### 収入の部

△印 = 前年度予算額に比較し増額の場合

科 目	平成29年度予算額	平成30年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
繰入金	円 0	円 0	円 0	%	預金利息 他
雑収入	10,000	3,000	7,000	30.0	
収入計	10,000	3,000	7,000	30.0	
前年度繰越金	9,164,358	9,164,436	△ 78	100.0	
合 計	9,174,358	9,167,436	6,922	99.9	

### 支出の部

科 目	平成29年度予算額	平成30年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
退職金支出	円 0	円 0	円 0	%	
雑費	0	3,000	△ 3,000		
支出計	0	3,000	△ 3,000		
次年度繰越金	9,174,358	9,164,436	9,922	99.9	
合 計	9,174,358	9,167,436	6,922	99.9	

# 第14号議案 平成30年度 卒後研修セミナー収支予算

自 平成30年1月1日  
至 平成30年12月31日

## 収入の部

△印＝前年度予算額に比較し増額の場合

科目	平成29年度予算額	平成30年度予算額	対前年度増減	比率	摘要
	円	円	円	%	
受講料	6,796,000	5,672,000	1,124,000	83.5	臨床セミナー 5,576,000円 セミナー No.1画像診断セミナー デンタル, パノラマ X線画像と コーンビーム CT の読像 336,000円 7,000×48人 336,000円 セミナー No.2補綴セミナー 補綴臨床におけるデジタルデン ティストリーの真髄 480,000円 10,000×48人 480,000円 セミナー No.3ペリオセミナー あなたの歯周治療をさらなる高みへ ～切除療法・ティッシュマネージ メントから再生療法までを学ぶ1.5～ 2,280,000円 [受講割引なし] 100,000×12人 1,200,000円 [受講割引あり] 90,000×12人 1,080,000円 セミナー No.4ベーシックハンズオン セミナーすぐに役立つ臨床のコツ ～実践スキルの向上 補綴, 矯正, ペリオ, 口腔外科編～ 720,000円 15,000×48人 720,000円 セミナー No.5小児歯科セミナー 向き合いませんか!小児歯科治療 ～小児の特徴・カリエス治療・ 抜歯後の保隙・経過観察～ 1,760,000円 [受講割引なし] 60,000×16人 960,000円 [受講割引あり] 50,000×16人 800,000円 医療教養フォーラム 96,000円 超高齢社会における口腔保健の課題 ～2025年を迎えるにあたって, やっておかなければならないこと～ 96,000円 2,000×48人 96,000円
雑収入	20,000	20,000	0	100.0	預金利息 他
繰入金収入	1,200,000	1,200,000	0	100.0	卒後研修セミナー積立金より繰入
収入計	8,016,000	6,892,000	1,124,000	86.0	
前年度繰越金	6,000,000	8,000,000	△ 2,000,000	133.3	
合計	14,016,000	14,892,000	△ 876,000	106.3	

支出の部

科 目	平成29年度予算額	平成30年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
事務費	490,000	490,000	0	100.0	
通信運搬費	450,000	450,000	0	100.0	
消耗品費	30,000	30,000	0	100.0	
雑費	10,000	10,000	0	100.0	
事業費	6,915,000	6,800,000	115,000	98.3	
講師謝礼費	1,090,000	1,200,000	△ 110,000	110.1	
講師旅費交通費	330,000	270,000	60,000	81.8	
資料作成費	260,000	330,000	△ 70,000	126.9	
役務費	310,000	860,000	△ 550,000	277.4	セミナー主任, 運営 他 480,000円 実習講師等 380,000円
実習器材費	1,690,000	1,650,000	40,000	97.6	模型, 器材 1,350,000円 テキスト 300,000円
設営費	1,285,000	540,000	745,000	42.0	受講生・演者・委員昼食 240,000円 会場設営等関係費 100,000円 運営器材費 100,000円 消耗品費 100,000円
印刷広報費	800,000	800,000	0	100.0	プログラム印刷 他
受講証関係費	50,000	50,000	0	100.0	
広告費	800,000	800,000	0	100.0	雑誌広告 他
渉外費	100,000	100,000	0	100.0	講師打合せ会費 他
会場費	200,000	200,000	0	100.0	
公租公課	400,000	400,000	0	100.0	
支出計	7,805,000	7,690,000	115,000	98.5	
予備費	6,211,000	7,202,000	△ 991,000	116.0	
合 計	14,016,000	14,892,000	△ 876,000	106.3	

## 平成30年度 卒後研修セミナー積立金収支予算

自 平成30年1月1日  
至 平成30年12月31日

### 収入の部

△印 = 前年度予算額に比較し増額の場合

科 目	平成29年度予算額	平成30年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
繰入金	0	0	0		預金利息 他
雑収入	10,000	5,000	5,000	50.0	
収入計	10,000	5,000	5,000	50.0	
前年度繰越金	12,158,000	10,158,816	1,999,184	83.6	
合 計	12,168,000	10,163,816	2,004,184	83.5	

### 支出の部

科 目	平成29年度予算額	平成30年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
繰入金支出	2,000,000	2,000,000	0	100.0	経常部へ繰入 800,000円 卒後研修セミナーへ繰入 1,200,000円
通信費	5,000	3,000	2,000	60.0	
支出計	2,005,000	2,003,000	2,000	99.9	
次年度繰越金	10,163,000	8,160,816	2,002,184	80.3	
合 計	12,168,000	10,163,816	2,004,184	83.5	

## 第15号議案 平成30年度 時局対策費積立金会計収支予算

自 平成30年1月1日  
至 平成30年12月31日

### 収入の部

△印 = 前年度予算額に比較し増額の場合

科 目	平成29年度予算額	平成30年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
繰入金	1,500,000	1,500,000	0	100.0	経常部より繰入
雑収入	10,000	5,000	5,000	50.0	預金利息 他
収入計	1,510,000	1,505,000	5,000	99.7	
前年度繰越金	17,957,740	18,458,798	△ 501,058	102.8	
合 計	19,467,740	19,963,798	△ 496,058	102.5	

### 支出の部

科 目	平成29年度予算額	平成30年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
支部加入促進費	1,000,000	1,000,000	0	100.0	
支部活動助成金	1,000,000	1,000,000	0	100.0	
雑費	0	5,000	△ 5,000		
支出計	2,000,000	2,005,000	△ 5,000	100.3	
次年度繰越金	17,467,740	17,958,798	△ 491,058	102.8	
合 計	19,467,740	19,963,798	△ 496,058	102.5	

## 第16号議案

### 北支部・滝野川支部の合併

## 第17号議案

### 役員改選

## 第18号議案

### 選挙管理委員・予備選挙管理委員の選出

## 協 議 題